

秩父郡市

人権に関する意識調査

報 告 書

令和 7 年 3 月

秩父郡市同和対策推進協議会

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 実施主体	3
3 調査概要	3
4 調査項目	3
5 回収結果	3
6 回答者の基本属性	4
7 報告書の見方（留意点）	5
8 その他	5
第2章 調査結果の分析	7
1 人権全般に対する意識	9
2 女性の人権に対する意識	20
3 子どもの人権に対する意識	26
4 高齢者の人権に対する意識	31
5 障がいのある人の人権に対する意識	37
6 同和問題（部落差別）に対する意識	44
7 外国人の人権に対する意識	71
8 インターネットによる人権侵害に対する意識	79
9 性的少数者（LGBTQ等）の人権に対する意識	85

第 1 章 調査の概要

1 調査目的

この調査は、人権問題に関する住民の意識の現状を把握し、「一人ひとりの人権が尊重される社会の実現」を目指した施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 実施主体

秩父郡市6市町村

(秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村)

3 調査概要

- (1) 調査地域 秩父郡(秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村)
- (2) 調査対象 各市町村内に在住する満18歳以上の男女
(階層 20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上)
- (3) 標本数 1,000人(市:300人、町:150人、村:100人)
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの層化無作為抽出(令和6年8月1日現在)
※階層ごとの標本数及び男女の割合については均等とする。
- (5) 調査方法 郵送による無記名回答
- (6) 調査期間 令和6年8月28日(水)～9月25日(水)

4 調査項目

- (1) 属性(性別、年代)
- (2) 人権全般に対する意識について
- (3) 女性の人権について
- (4) 子どもの人権について
- (5) 高齢者の人権について
- (6) 障害のある人の人権について
- (7) 同和問題(部落差別)について
- (8) 外国人の人権について
- (9) インターネットによる人権侵害について
- (10) 性的少数者(LGBTQ等)の人権について
- (11) 人権問題についての意見

5 回収結果

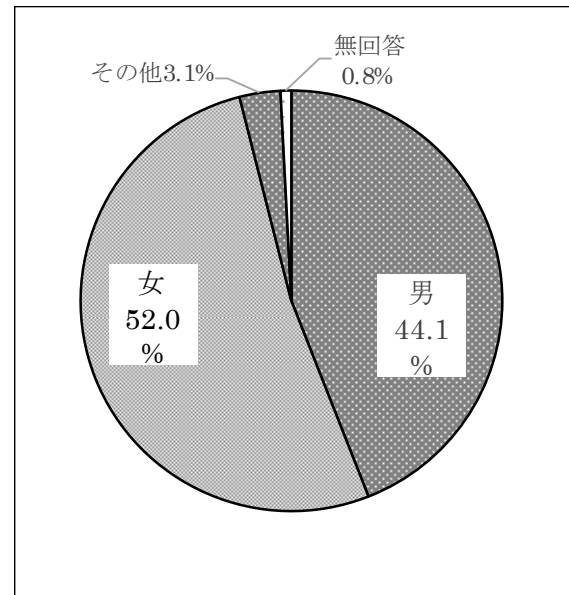
- (1) 配布人数 1,000人
- (2) 回答者数 479人
- (3) 回答率 47.9%

6 回答者の基本属性

【性別】

区 分		回答数	構成比
1	男	211	44.1%
2	女	249	52.0%
3	その他／回答しない	15	3.1%
4	無回答	4	0.8%

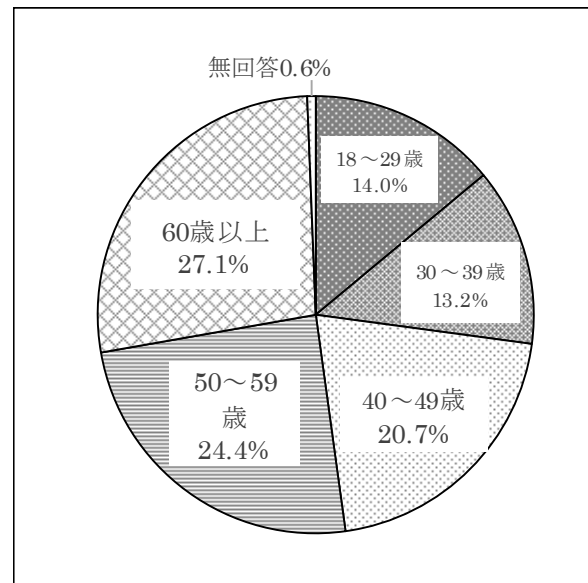
合計 479 人



【年代別】

区 分	回答数	構成比
1 18～29 歳	67	14.0%
2 30～39 歳	63	13.2%
3 40～49 歳	99	20.7%
4 50～59 歳	117	24.4%
5 60 歳以上	130	27.1%
6 無回答	3	0.6%

合計 479 人



【性別・年代別】

選択項目	総計		男		女		その他／回答しない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18～29 歳	67	14.0%	31	14.7%	34	13.7%	2	13.3%	0	0.0%
30～39 歳	63	13.2%	24	11.4%	34	13.7%	5	33.3%	0	0.0%
40～49 歳	99	20.7%	45	21.3%	50	20.1%	4	26.7%	0	0.0%
50～59 歳	117	24.4%	48	22.7%	67	26.9%	1	6.7%	1	25.0%
60 歳以上	130	27.1%	62	29.4%	64	25.7%	3	20.0%	1	25.0%
無回答	3	0.6%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%
合計	479	100.0%	211	100.0%	249	100.0%	15	100.0%	4	100.0%

7 報告書の見方（留意点）

（1）調査結果の分析区分について

調査結果は、次の区分により分析しています。

【全体】 特定の区分を分けずに回答者全員479人を対象に分析しています。

【年代別】 回答者の中で年代が確認できた20歳代以下67人、30歳代63人、40歳代99人、50歳代117人、60歳以上130人（合計476人）を対象に年代ごとに分けて傾向を分析しています。

表中の色抜き部分（）については、分析時の主な評価箇所となっています。

（2）回答割合の算出方法について

・「○は一つ」としている設問については、【全体】【年代別】ごとの回答者数を分母とし、それぞれの選択肢を選んだ人数の割合を算出しています。（表、グラフの単位を人にしていきます。）

・「該当するものすべてに○」など、一人の回答者が複数の項目を選択する設問については、その設問の回答者数を分母とし、それぞれの選択肢の回答数の割合を算出しています。

（3）端数について

割合を求めたときの端数については、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、割合の合計が100%にならない場合があります。

8 その他

問37の「意見欄」については、紙面の都合等により報告書には載せてありません。

今後の人権問題に対する取り組みのための参考とさせていただきます。

第 2 章 調査結果の分析

1 人権全般に対する意識

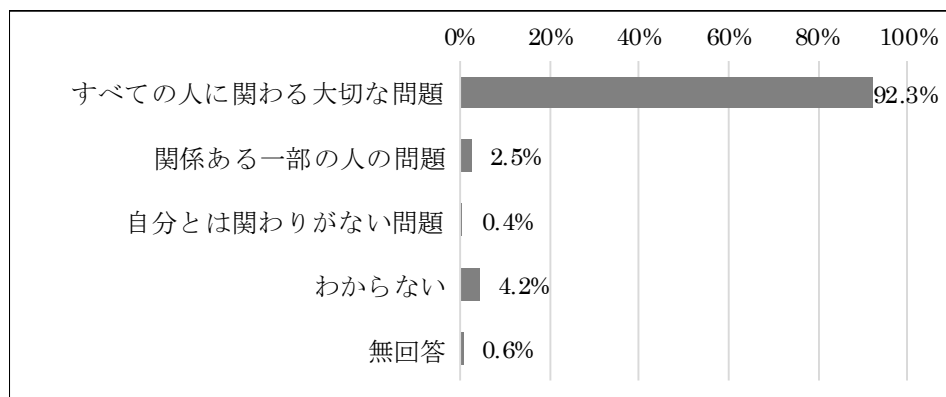
問1 あなたは、人権について、どのように考えていますか。(○は1つ)

【全体】

「すべての人に関わる大切な問題」が90%を超え、最も高くなっている。

区分	回答数	構成比
1 すべての人に関わる大切な問題	442	92.3%
2 関係ある一部の人の問題	12	2.5%
3 自分とは関わりがない問題	2	0.4%
4 わからない	20	4.2%
無回答	3	0.6%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「すべての人に関わる大切な問題」が85%を超え、最も高くなっている。

区分	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
すべての人に関わる大切な問題	97.0%	96.8%	91.9%	92.3%	89.2%
関係ある一部の人の問題	1.5%	1.6%	6.1%	0.0%	3.1%
自分とは関わりがない問題	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.8%
わからない	1.5%	1.6%	1.0%	6.8%	6.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%

(注) 部分：主な評価箇所

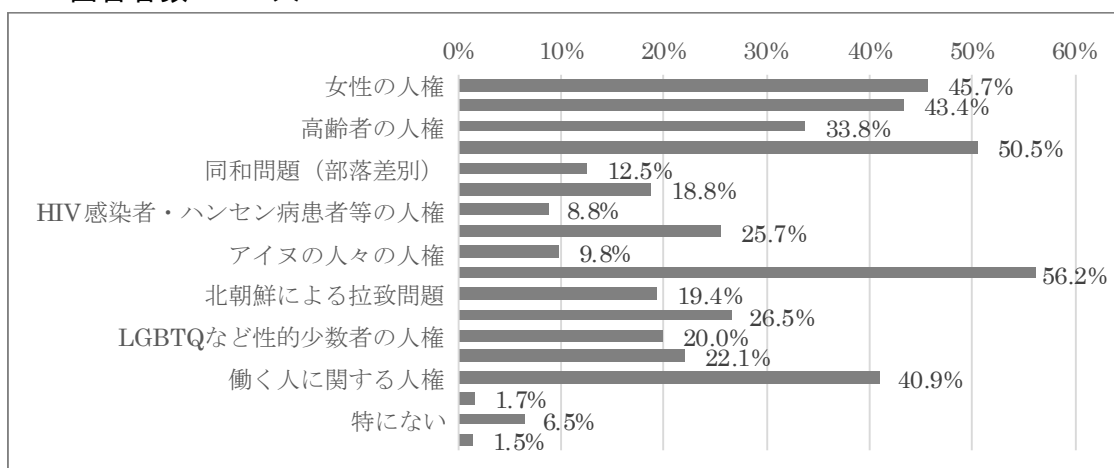
問2 いまの日本の社会には様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

関心のある人権問題は、「インターネットによる人権侵害」が56.2%で最も高く、次いで「障がいのある人の人権」が50.5%、「女性の人権」が45.7%となっている。

区分	回答数	構成比
1 女性の人権	219	45.7%
2 子どもの人権	208	43.4%
3 高齢者の人権	162	33.8%
4 障がいのある人の人権	242	50.5%
5 同和問題（部落差別）	60	12.5%
6 外国人の人権	90	18.8%
7 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	42	8.8%
8 犯罪被害者とその家族の人権	123	25.7%
9 アイヌの人々の人権	47	9.8%
10 インターネットによる人権侵害	269	56.2%
11 北朝鮮による拉致問題	93	19.4%
12 災害時における人権への配慮	127	26.5%
13 LGBTQなど性的少数者の人権	107	20.0%
14 感染症に関する差別	106	22.1%
15 働く人に関する人権	196	40.9%
16 その他	8	1.7%
17 特にない	31	6.5%
無回答	7	1.5%

回答者数 479人



【年代別】

18～20歳代では「女性の人権」、30歳代、40歳代、50歳代では「インターネットによる人権侵害」、60歳以上では「障がいのある人の人権」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
女性の人権	52.2%	49.2%	58.6%	35.9%	40.0%
子どもの人権	41.8%	39.7%	55.6%	39.3%	41.5%
高齢者の人権	16.4%	15.9%	34.3%	31.6%	53.1%
障がいのある人の人権	43.3%	44.4%	56.6%	47.9%	56.2%
同和問題（部落差別）	4.5%	6.3%	11.1%	16.2%	17.7%
外国人の人権	22.4%	12.7%	23.2%	18.8%	16.9%
HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	0.0%	3.2%	11.1%	10.3%	13.1%
犯罪被害者とその家族の人権	26.9%	28.6%	28.3%	22.2%	25.4%
アイヌの人々の人権	1.5%	6.3%	6.1%	12.8%	16.2%
インターネットによる人権侵害	50.7%	52.4%	63.6%	65.0%	47.7%
北朝鮮による拉致問題	9.0%	9.5%	14.1%	19.7%	33.8%
災害時における人権への配慮	10.4%	25.4%	36.4%	27.4%	26.9%
LGBTQなど性的少数者の人権	31.3%	23.8%	24.2%	19.7%	18.5%
感染症に関する差別	7.5%	14.3%	31.3%	28.2%	20.8%
働く人に関する人権	34.3%	39.7%	44.4%	46.2%	37.7%
その他	0.0%	4.8%	1.0%	2.6%	0.8%
特にない	3.0%	3.2%	4.0%	10.3%	8.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%

(注) 部分：主な評価箇所

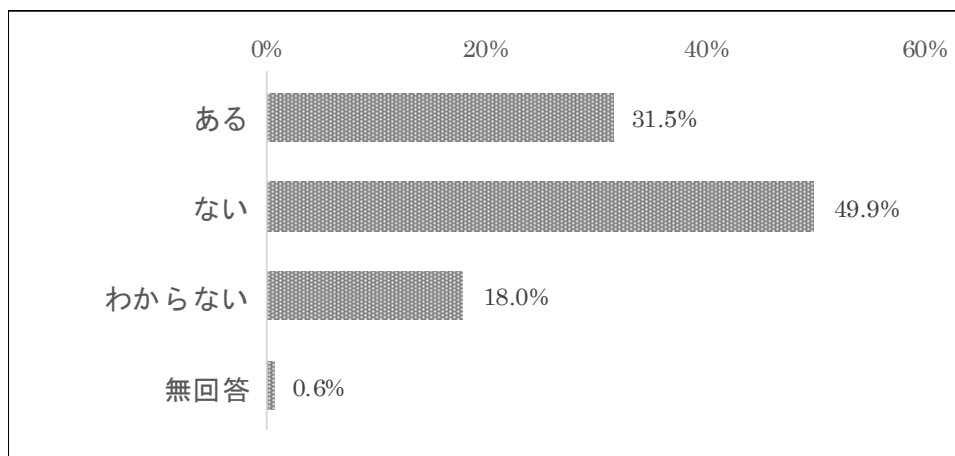
問3 - 1 あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの身近な人（家族・友人など）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は1つ）

【全体】

人権が侵害されたと感じた経験は、31.5%となっている。

区 分	人数	構成比
1 ある	151	31.5%
2 ない	239	49.9%
3 わからない	86	18.0%
無回答	3	0.6%

回答者数 479人



【年代別】

人権が侵害されたと感じた経験は、30歳代、40歳代で30%を超え、50歳代では40%を超え、高くなっている。

区 分	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
ある	25.4%	34.9%	32.3%	41.0%	23.8%
ない	53.7%	50.8%	49.5%	41.9%	55.4%
わからない	20.9%	14.3%	18.2%	17.1%	19.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%

(注) 部分：主な評価箇所

(問3-1で「人権が侵害されたと感じたことがある」と回答した人に対して)

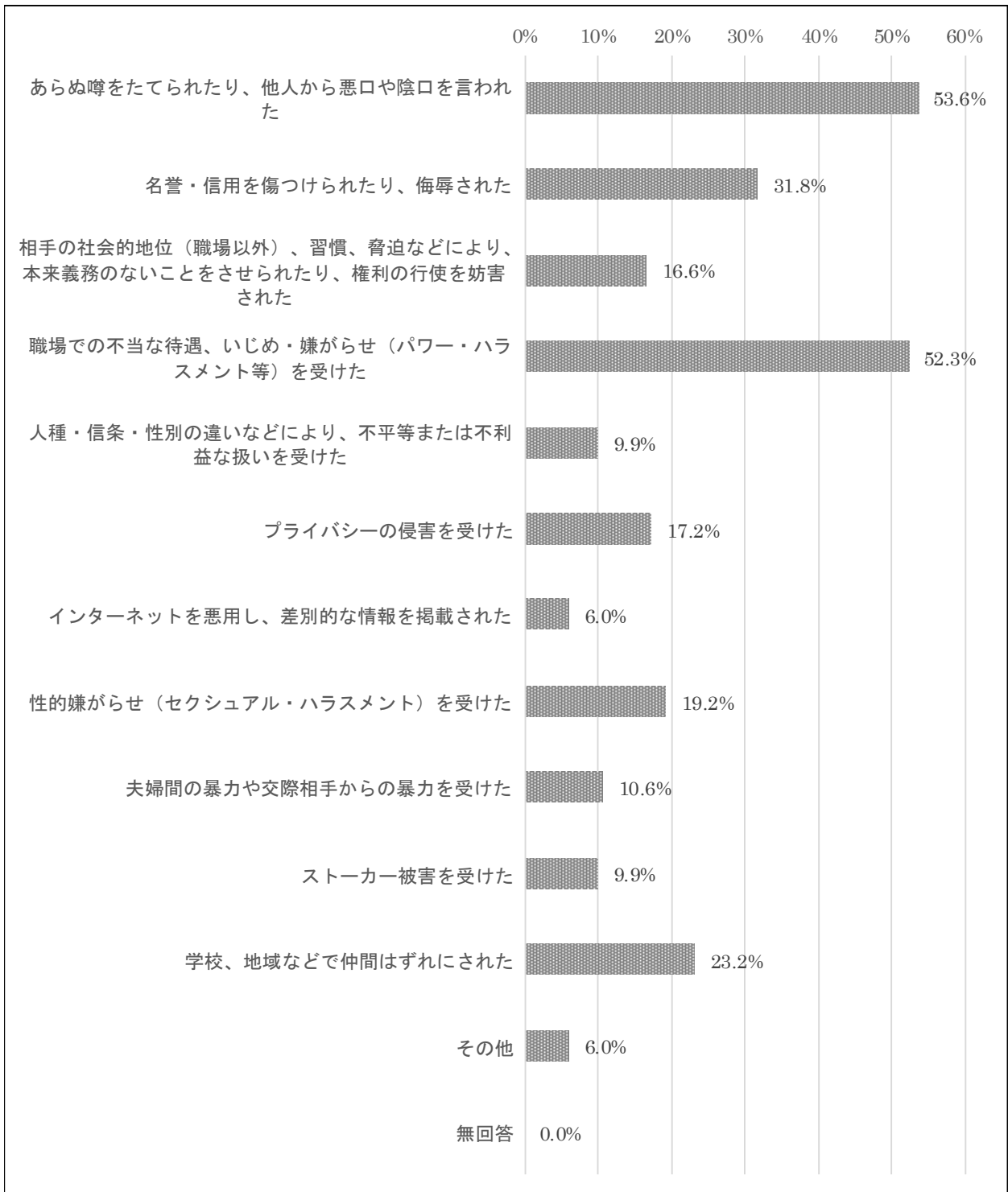
問3-2 それはどのような内容ですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

人権が侵害されたと感じた経験がある151人に内容を聞いたところ、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が53.6%で最も高く、次いで「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ(パワー・ハラスメント等)を受けた」が52.3%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	81	53.6%
2 名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	48	31.8%
3 相手の社会的地位(職場以外)、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	25	16.6%
4 職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ(パワー・ハラスメント等)を受けた	79	52.3%
5 人種・信条・性別の違いなどにより、不平等または不利益な扱いを受けた	15	9.9%
6 プライバシーの侵害を受けた	26	17.2%
7 インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	9	6.0%
8 性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)を受けた	29	19.2%
9 夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	16	10.6%
10 ストーカー被害を受けた	15	9.9%
11 学校、地域などで仲間はずれにされた	35	23.2%
12 その他	9	6.0%
無回答	0	0.0%

回答者数 151人



【年代別】

各年代において「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」、「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	52.9%	68.2%	50.0%	50.0%	54.8%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	23.5%	36.4%	31.3%	35.4%	29.0%
相手の社会的地位（職場以外）、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	17.6%	18.2%	15.6%	16.7%	16.1%
職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた	41.2%	59.1%	50.0%	66.7%	35.5%
人種・信条・性別の違いなどにより、不平等または不利益な扱いを受けた	23.5%	0.0%	6.3%	14.6%	3.2%
プライバシーの侵害を受けた	23.5%	4.5%	15.6%	16.7%	25.8%
インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	5.9%	0.0%	3.1%	10.4%	6.5%
性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	23.5%	36.4%	12.5%	16.7%	12.9%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	5.9%	0.0%	6.3%	16.7%	16.1%
ストーカー被害を受けた	0.0%	4.5%	9.4%	18.8%	6.5%
学校、地域などで仲間はずれにされた	11.8%	27.3%	31.3%	25.0%	16.1%
その他	0.0%	4.5%	6.3%	8.3%	6.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注) 部分：主な評価箇所

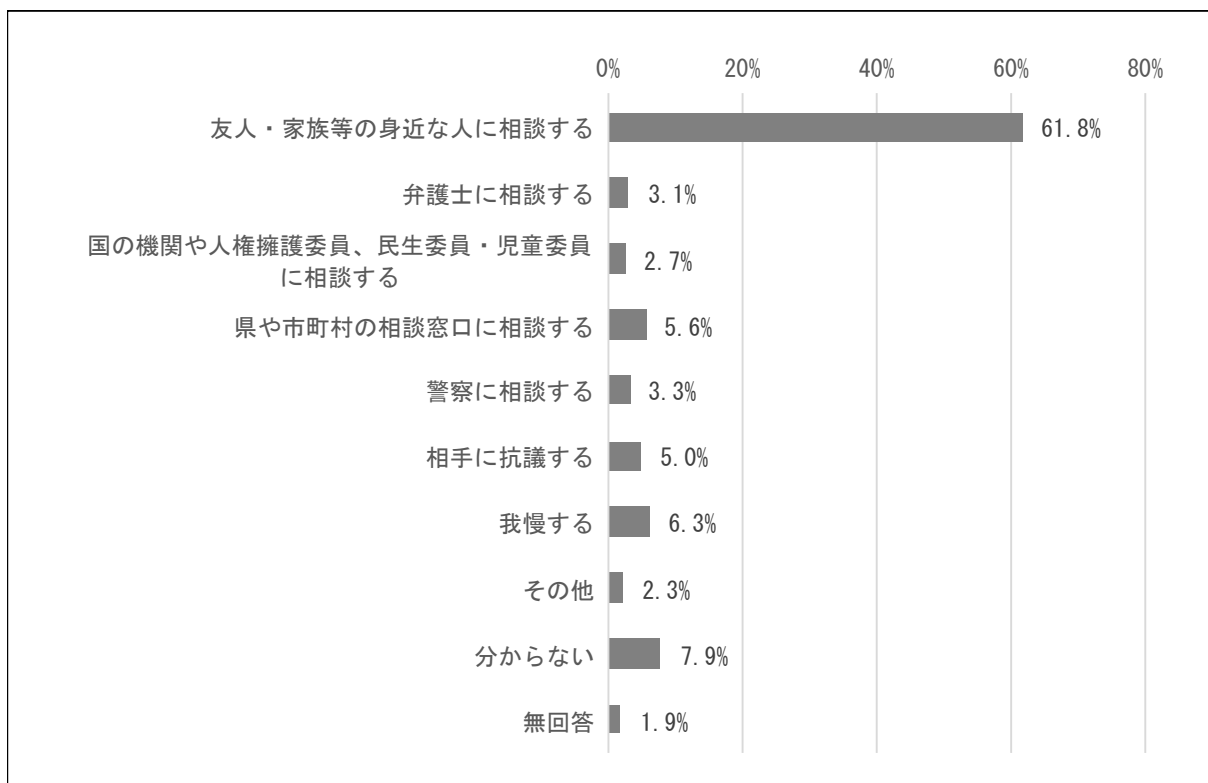
問4 もし、あなたが、ご自身の人権を侵害されたと感じた場合、まず、どのような対応をしますか。(〇は1つ)

【全体】

人権が侵害されたと感じた場合の対応は、「友人・家族等の身近な人に相談する」が61.8%で最も高くなっている。

区 分	回答数	構成比
1 友人・家族等の身近な人に相談する	296	61.8%
2 弁護士に相談する	15	3.1%
3 国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する	13	2.7%
4 県や市町村の相談窓口相談する	27	5.6%
5 警察に相談する	16	3.3%
6 相手に抗議する	24	5.0%
7 我慢する	30	6.3%
8 その他	11	2.3%
9 分からない	38	7.9%
無回答	9	1.9%

回答者数 479 人



【年代別】

各年代において、「友人・家族等の身近な人に相談する」の割合が最も高く、特に18～20歳代では79.1%となっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
友人・家族等の身近な人に相談する	79.1%	73.0%	67.7%	55.6%	48.5%
弁護士に相談する	0.0%	3.2%	3.0%	4.3%	3.8%
国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童 委員に相談する	1.5%	1.6%	1.0%	2.6%	5.4%
県や市町村の相談窓口相談する	0.0%	3.2%	2.0%	8.5%	10.0%
警察に相談する	0.0%	3.2%	0.0%	6.0%	5.4%
相手に抗議する	6.0%	4.8%	4.0%	5.1%	5.4%
我慢する	3.0%	4.8%	12.1%	4.3%	6.2%
その他	3.0%	0.0%	3.0%	4.3%	0.8%
分からない	4.5%	4.8%	7.1%	7.7%	12.3%
無回答	3.0%	1.6%	0.0%	1.7%	2.3%

(注) 部分：主な評価箇所

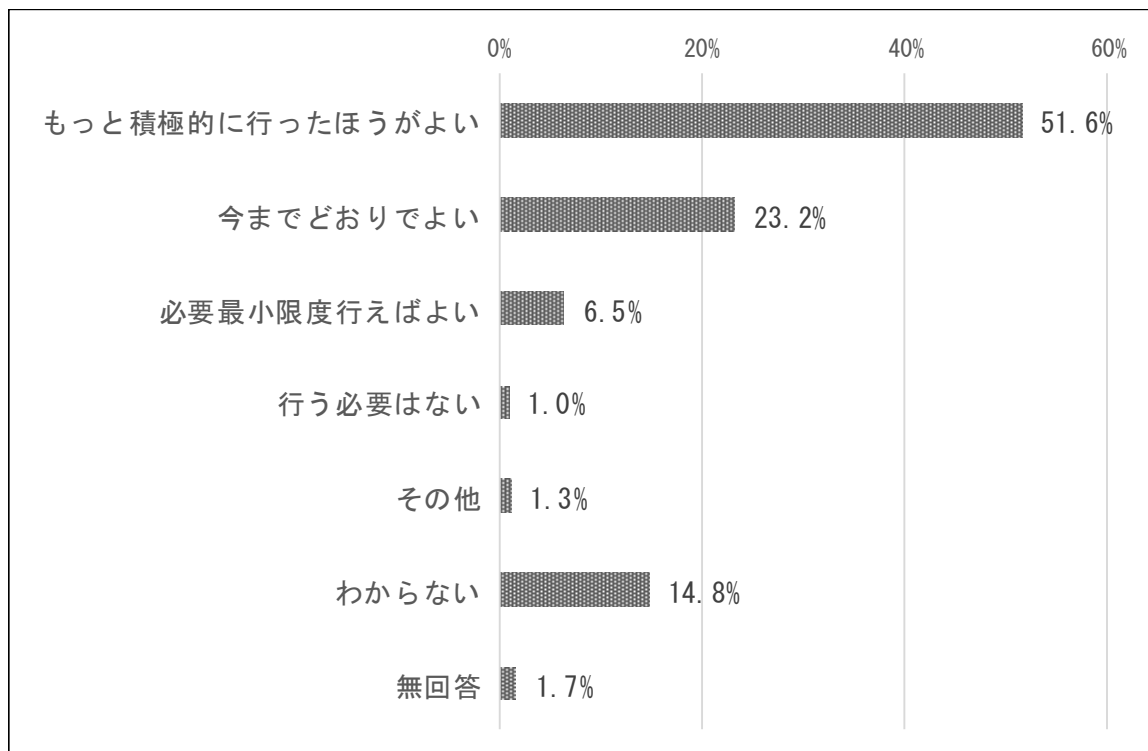
問5 あなたは、市や町村において、人権教育・啓発をどのように進めたらよいと思いますか。(〇は1つ)

【全体】

人権教育・啓発の進め方については、「もっと積極的に行ったほうがよい」が51.6%で、最も高くなっている。

区 分	回答数	構成比
1 もっと積極的に行ったほうがよい	247	51.6%
2 今までどおりでよい	111	23.2%
3 必要最小限度行えばよい	31	6.5%
4 行う必要はない	5	1.0%
5 その他	6	1.3%
6 わからない	71	14.8%
無回答	8	1.7%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「もっと積極的に行ったほうがよい」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
もっと積極的に行ったほうがよい	53.7%	46.0%	50.5%	53.8%	52.3%
今までどおりでよい	26.9%	25.4%	25.3%	18.8%	22.3%
必要最小限度行えばよい	3.0%	11.1%	7.1%	4.3%	7.7%
行う必要はない	0.0%	1.6%	1.0%	1.7%	0.8%
その他	0.0%	1.6%	0.0%	2.6%	1.5%
わからない	11.9%	12.7%	16.2%	17.9%	13.8%
無回答	4.5%	1.6%	0.0%	0.9%	1.5%

(注) 部分：主な評価箇所

2 女性の人権に対する意識

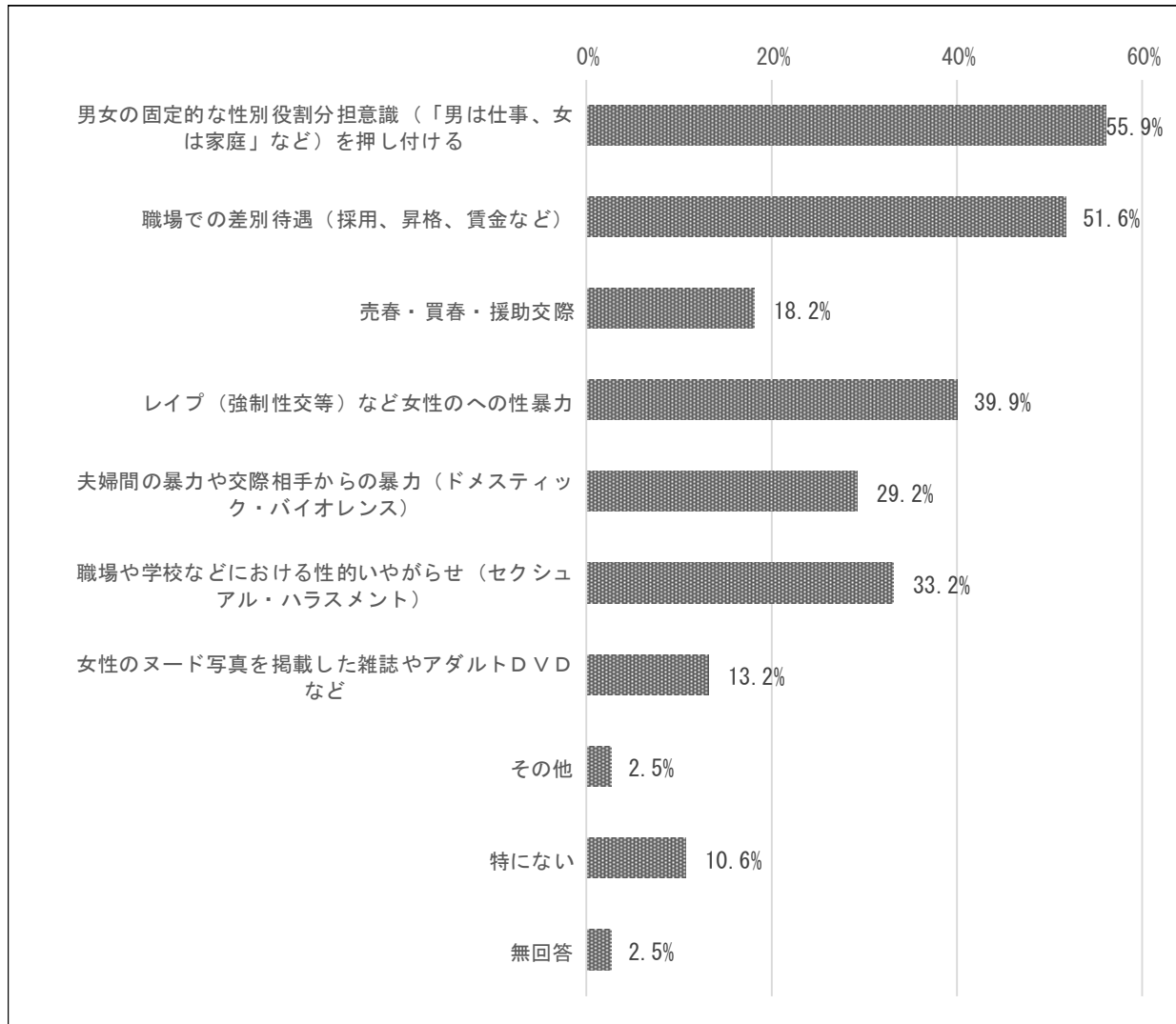
問6 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのような行為に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

女性の人権が尊重されていないと感じるのは、「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」が55.9%で最も高く、次いで「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」、「レイプ（強制的性交等）など女性への性暴力」となっている。

区分	回答数	構成比
1 男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける	268	55.9%
2 職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）	247	51.6%
3 売春・買春・援助交際	87	18.2%
4 レイプ（強制的性交等）など女性への性暴力	191	39.9%
5 夫婦間の暴力や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）	140	29.2%
6 職場や学校などにおける性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	159	33.2%
7 女性のヌード写真を掲載した雑誌、アダルトDVDなど	63	13.2%
8 その他	12	2.5%
9 特にない	51	10.6%
無回答	12	2.5%

回答者数 479人



【年代別】

18～20歳代、30歳代、40歳代、60歳以上では「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」が最も高く、50歳代では「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける	56.7%	69.8%	55.6%	48.7%	56.2%
職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）	50.7%	60.3%	51.5%	52.1%	47.7%
売春・買春・援助交際	20.9%	17.5%	17.2%	15.4%	20.8%
レイプ（強制性交等）など女性への性暴力	41.8%	47.6%	39.4%	40.2%	36.2%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）	22.4%	33.3%	31.3%	35.0%	24.6%
職場や学校などにおける性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	40.3%	49.2%	38.4%	32.5%	19.2%
女性のヌード写真を掲載した雑誌、アダルトDVDなど	10.4%	12.7%	12.1%	12.0%	16.9%
その他	1.5%	1.6%	3.0%	4.3%	1.5%
特にない	9.0%	6.3%	9.1%	12.0%	13.8%
無回答	1.5%	1.6%	1.0%	0.0%	6.2%

(注) 部分：主な評価箇所

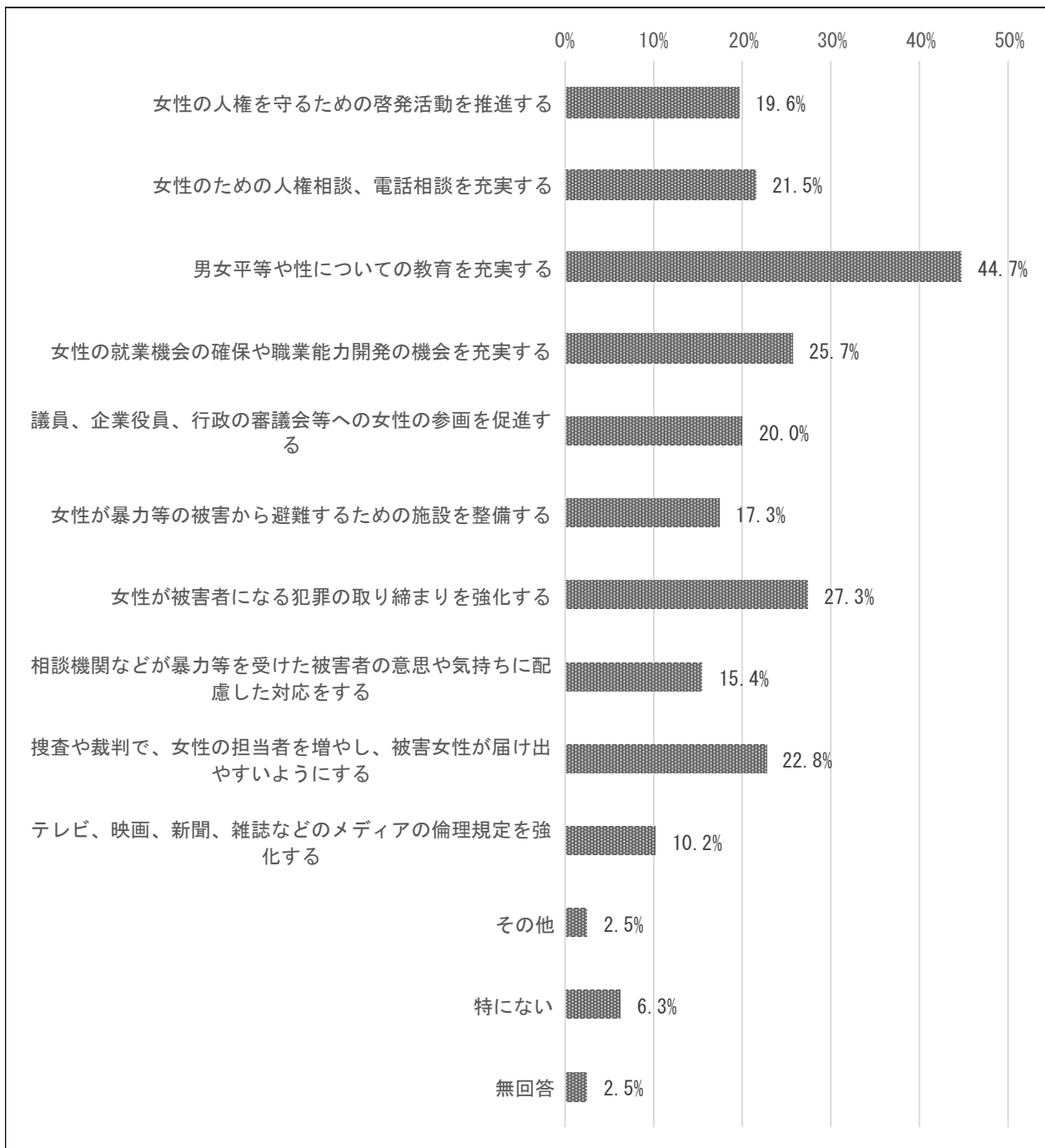
問7 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

女性の人権を守るために必要なこととして、「男女平等や性についての教育を充実する」が44.7%で最も高く、次いで「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が27.3%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 女性の人権を守るための啓発活動を推進する	94	19.6%
2 女性のための人権相談、電話相談を充実する	103	21.5%
3 男女平等や性についての教育を充実する	214	44.7%
4 女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会を充実する	123	25.7%
5 議員、企業役員、行政の審議会等への女性の参画を促進する	96	20.0%
6 女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する	83	17.3%
7 女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	131	27.3%
8 相談機関などが暴力等を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	74	15.4%
9 捜査や裁判で、女性の担当を増やし、被害女性が届けやすいようにする	109	22.8%
10 テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規定を強化する	49	10.2%
11 その他	12	2.5%
12 特にない	30	6.3%
無回答	12	2.5%

回答者数 479人



【年代別】

18～20歳代から60歳以上まで、すべての年代において「男女平等や性についての教育を充実する」の割合が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	11.9%	7.9%	12.1%	23.1%	31.5%
女性のための人権相談、電話相談を充実する	20.9%	9.5%	22.2%	24.8%	23.8%
男女平等や性についての教育を充実する	55.2%	46.0%	50.5%	43.6%	34.6%
女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会を充実する	31.3%	28.6%	28.3%	17.9%	26.9%
議員、企業役員、行政の審議会等への女性の参画を促進する	19.4%	22.2%	18.2%	17.1%	23.8%
女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する	20.9%	20.6%	23.2%	17.9%	9.2%
女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	28.4%	28.6%	29.3%	30.8%	22.3%
相談機関などが暴力等を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	14.9%	19.0%	13.1%	20.5%	11.5%
捜査や裁判で、女性の担当を増やし、被害女性が届け出やすいようにする	16.4%	36.5%	32.3%	15.4%	19.2%
テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規定を強化する	9.0%	9.5%	6.1%	14.5%	10.8%
その他	0.0%	3.2%	1.0%	5.1%	2.3%
特になし	4.5%	4.8%	5.1%	7.7%	7.7%
無回答	1.5%	1.6%	1.0%	1.7%	4.6%

(注) 部分：主な評価箇所

3 子どもの人権に対する意識

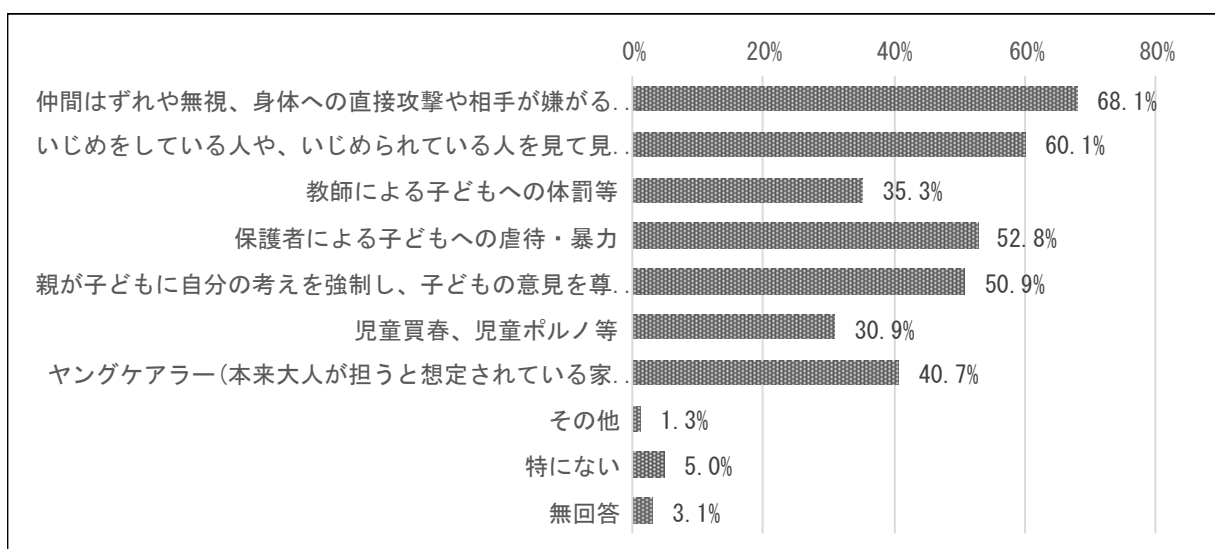
問8 あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」が68.1%で最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」が60.1%、「保護者による子どもへの虐待・暴力」が52.8%となっている。

区分	回答数	構成比
1 仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要	326	68.1%
2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする	288	60.1%
3 教師による子どもへの体罰等	169	35.3%
4 保護者による子どもへの虐待・暴力	253	52.8%
5 親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見を尊重しない	244	50.9%
6 児童買春、児童ポルノ等	148	30.9%
7 ヤングケアラー(本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと)問題	195	40.7%
8 その他	6	1.3%
9 特にない	24	5.0%
無回答	15	3.1%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」が高くなっている。

「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見を尊重しない」では、18～20歳代の割合が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要	64.2%	74.6%	73.7%	69.2%	63.1%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする	56.7%	63.5%	55.6%	63.2%	62.3%
教師による子どもへの体罰等	53.7%	36.5%	40.4%	28.2%	28.5%
保護者による子どもへの虐待・暴力	59.7%	55.6%	58.6%	50.4%	46.9%
親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見を尊重しない	61.2%	58.7%	47.5%	52.1%	44.6%
児童買春、児童ポルノ等	32.8%	39.7%	37.4%	27.4%	24.6%
ヤングケアラー(本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと)問題	46.3%	41.3%	42.4%	45.3%	33.1%
その他	0.0%	1.6%	0.0%	1.7%	2.3%
特になし	0.0%	1.6%	5.1%	6.0%	7.7%
無回答	0.0%	3.2%	1.0%	2.6%	5.4%

(注) 部分：主な評価箇所

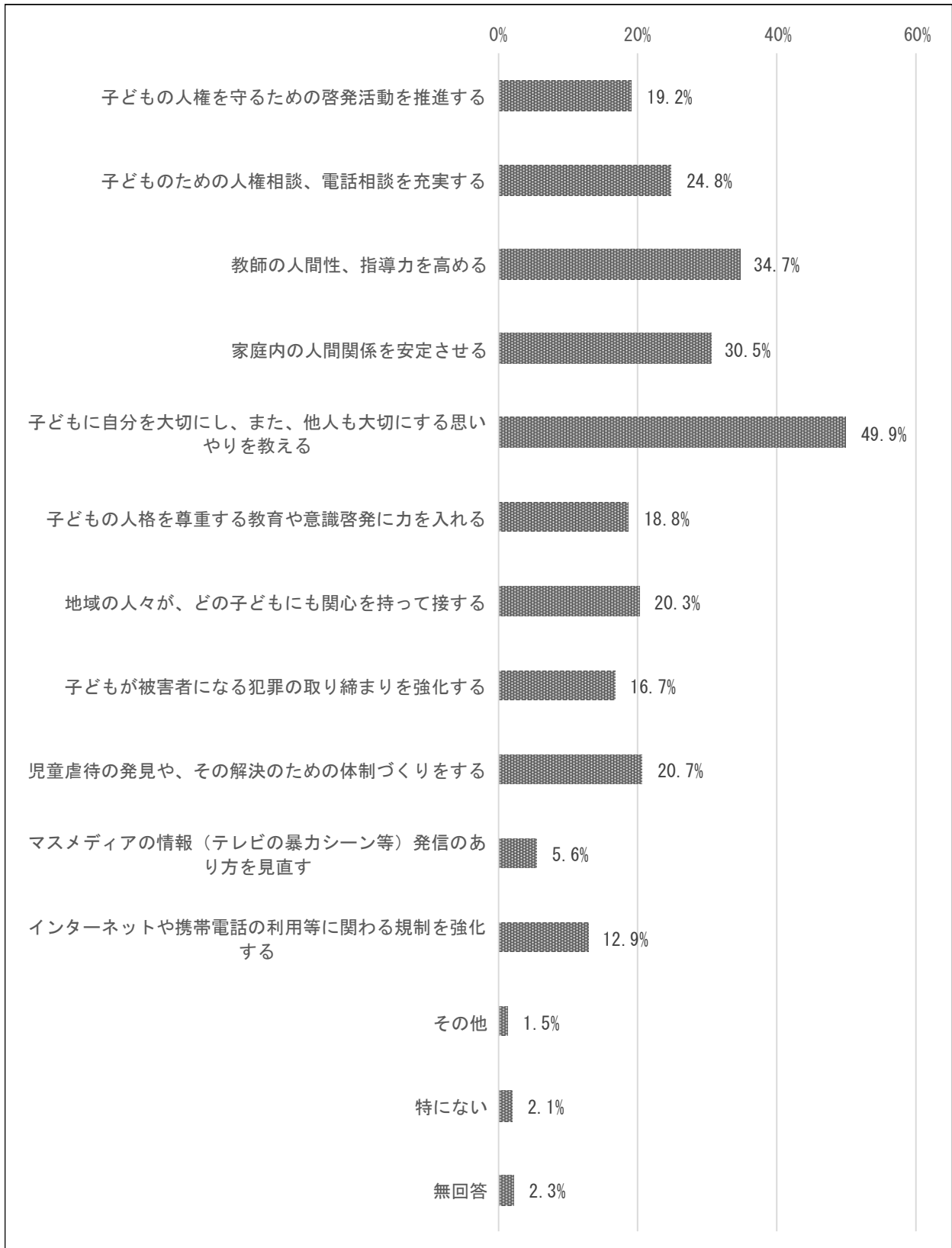
問9 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

子どもの人権を守るために必要なこととして、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」が49.9%で最も高く、次いで「教師の人間性、指導力を高める」が34.7%、「家庭内の人間関係を安定させる」が30.5%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	92	19.2%
2 子どものための人権相談、電話相談を充実する	119	24.8%
3 教師の人間性、指導力を高める	166	34.7%
4 家庭内の人間関係を安定させる	146	30.5%
5 子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える	239	49.9%
6 子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる	90	18.8%
7 地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する	97	20.3%
8 子どもが被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	80	16.7%
9 児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする	99	20.7%
10 マスメディアの情報（テレビの暴力シーン等）発信のあり方を見直す	27	5.6%
11 インターネットや携帯電話の利用等にかかわる規制を強化する	62	12.9%
12 その他	7	1.5%
13 特にない	10	2.1%
無回答	11	2.3%

回答者数 479人



【年代別】

各世代において「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	16.4%	6.3%	21.2%	17.9%	26.9%
子どものための人権相談、電話相談を充実する	31.3%	22.2%	23.2%	23.9%	25.4%
教師の人間性、指導力を高める	32.8%	28.6%	32.3%	39.3%	36.9%
家庭内の人間関係を安定させる	26.9%	31.7%	37.4%	28.2%	29.2%
子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える	37.3%	52.4%	52.5%	54.7%	49.2%
子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる	23.9%	22.2%	16.2%	19.7%	16.2%
地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する	16.4%	19.0%	19.2%	19.7%	24.6%
子どもが被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	23.9%	25.4%	21.2%	13.7%	8.5%
児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする	29.9%	23.8%	18.2%	18.8%	18.5%
マスメディアの情報（テレビの暴力シーン等）発信のあり方を見直す	3.0%	4.8%	5.1%	5.1%	8.5%
インターネットや携帯電話の利用等にかかわる規制を強化する	7.5%	11.1%	15.2%	17.1%	11.5%
その他	1.5%	1.6%	1.0%	2.6%	0.8%
特になし	0.0%	0.0%	2.0%	2.6%	3.8%
無回答	0.0%	3.2%	1.0%	2.6%	2.3%

(注) 部分：主な評価箇所

4 高齢者の人権に対する意識

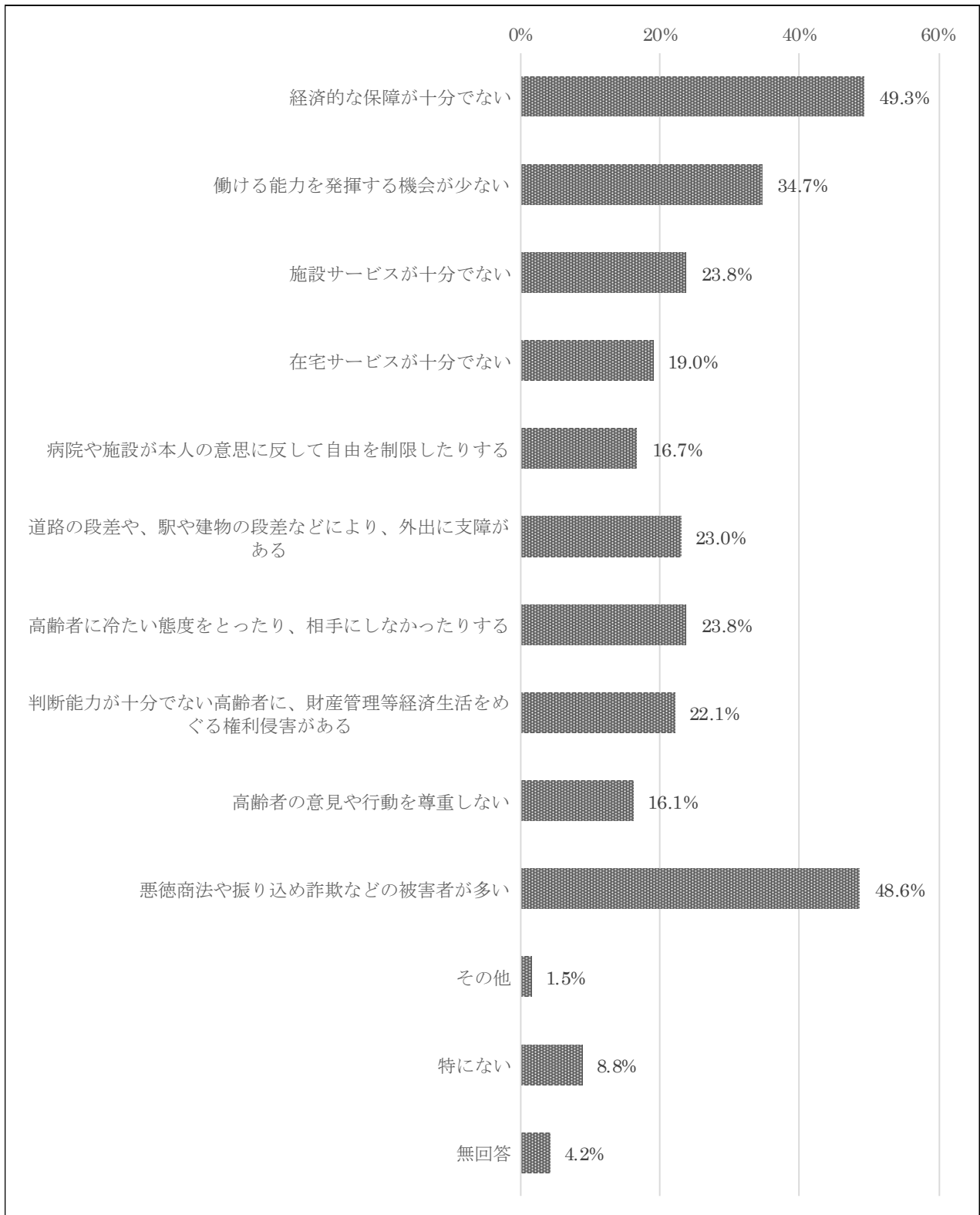
問10 あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に
対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的な保障が十分でない」が
49.3%と最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」が4
8.6%、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が34.7%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 経済的な保障が十分でない	236	49.3%
2 働ける能力を発揮する機会が少ない	166	34.7%
3 施設サービスが十分でない	114	23.8%
4 在宅サービスが十分でない	91	19.0%
5 病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	80	16.7%
6 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	110	23.0%
7 高齢者に冷たい態度をとったり、相手にしなかったりする	114	23.8%
8 判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	106	22.1%
9 高齢者の意見や行動を尊重しない	77	16.1%
10 悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い	233	48.6%
11 その他	7	1.5%
12 特にない	42	8.8%
無回答	20	4.2%

回答者数 479人



【年代別】

18～20歳代から50歳代までは「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」が、60歳以上では「経済的な保障が十分でない」が最も高くなっている。次いで18～20歳代、30歳代では「経済的な保障が十分でない」、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が、40歳代、50歳代では「経済的な保障が十分でない」が、60歳以上では「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
経済的な保障が十分でない	28.4%	38.1%	53.5%	54.7%	57.7%
働ける能力を発揮する機会が少ない	28.4%	38.1%	35.4%	35.9%	33.8%
施設サービスが十分でない	20.9%	23.8%	30.3%	29.1%	16.2%
在宅サービスが十分でない	16.4%	22.2%	20.2%	24.8%	13.1%
病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	11.9%	19.0%	21.2%	16.2%	15.4%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	26.9%	22.2%	22.2%	22.2%	23.1%
高齢者に冷たい態度をとったり、相手にしなかったりする	19.4%	27.0%	28.3%	19.7%	25.4%
判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	26.9%	23.8%	32.3%	17.9%	15.4%
高齢者の意見や行動を尊重しない	10.4%	20.6%	20.2%	9.4%	20.0%
悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い	41.8%	39.7%	56.6%	55.6%	45.4%
その他	0.0%	3.2%	3.0%	1.7%	0.0%
特にない	9.0%	15.9%	6.1%	7.7%	8.5%
無回答	0.0%	3.2%	1.0%	4.3%	8.5%

(注) 部分：主な評価箇所

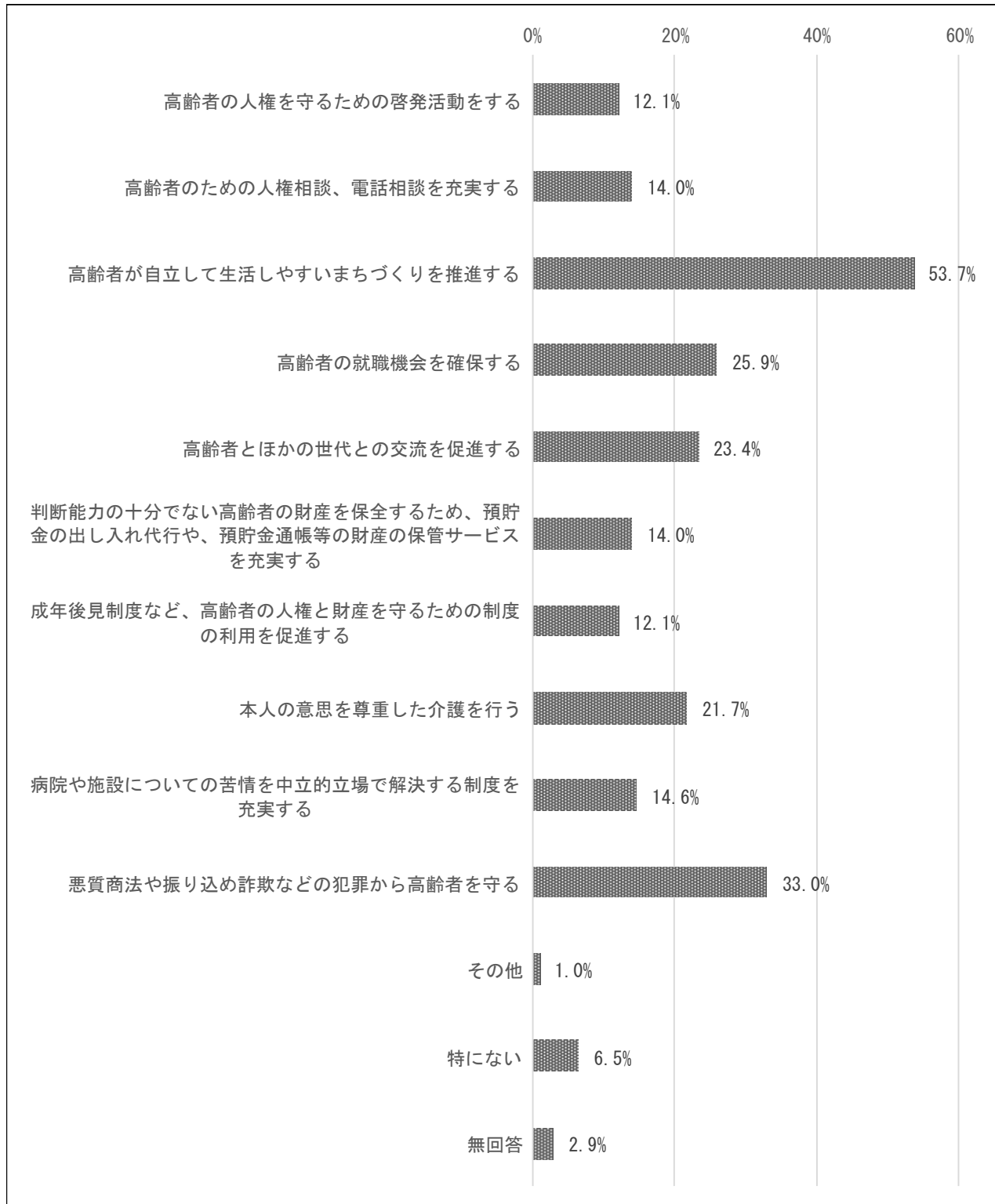
問11 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が53.7%で最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が33.0%、「高齢者の就職機会を確保する」が25.9%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 高齢者の人権を守るための啓発活動をする	58	12.1%
2 高齢者のための人権相談、電話相談を充実する	67	14.0%
3 高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する	257	53.7%
4 高齢者の就職機会を確保する	124	25.9%
5 高齢者とほかの世代との交流を促進する	112	23.4%
6 判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	67	14.0%
7 成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	58	12.1%
8 本人の意思を尊重した介護を行う	104	21.7%
9 病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	70	14.6%
10 悪質商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る	158	33.0%
11 その他	5	1.0%
12 特になし	31	6.5%
無回答	14	2.9%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
高齢者の人権を守るための啓発活動をする	10.4%	7.9%	8.1%	6.0%	23.1%
高齢者のための人権相談、電話相談を充実する	14.9%	7.9%	16.2%	9.4%	18.5%
高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する	43.3%	49.2%	61.6%	51.3%	57.7%
高齢者の就職機会を確保する	22.4%	22.2%	30.3%	34.2%	19.2%
高齢者とほかの世代との交流を促進する	17.9%	25.4%	29.3%	25.6%	19.2%
判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	16.4%	14.3%	14.1%	12.8%	13.8%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	16.4%	15.9%	12.1%	12.0%	8.5%
本人の意思を尊重した介護を行う	20.9%	22.2%	22.2%	18.8%	24.6%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	13.4%	14.3%	13.1%	18.8%	13.1%
悪質商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る	34.3%	27.0%	37.4%	39.3%	26.9%
その他	0.0%	3.2%	1.0%	0.9%	0.8%
特にない	6.0%	9.5%	4.0%	6.0%	6.9%
無回答	0.0%	4.8%	0.0%	4.3%	3.8%

(注) 部分：主な評価箇所

5 障がいのある人の人権に対する意識

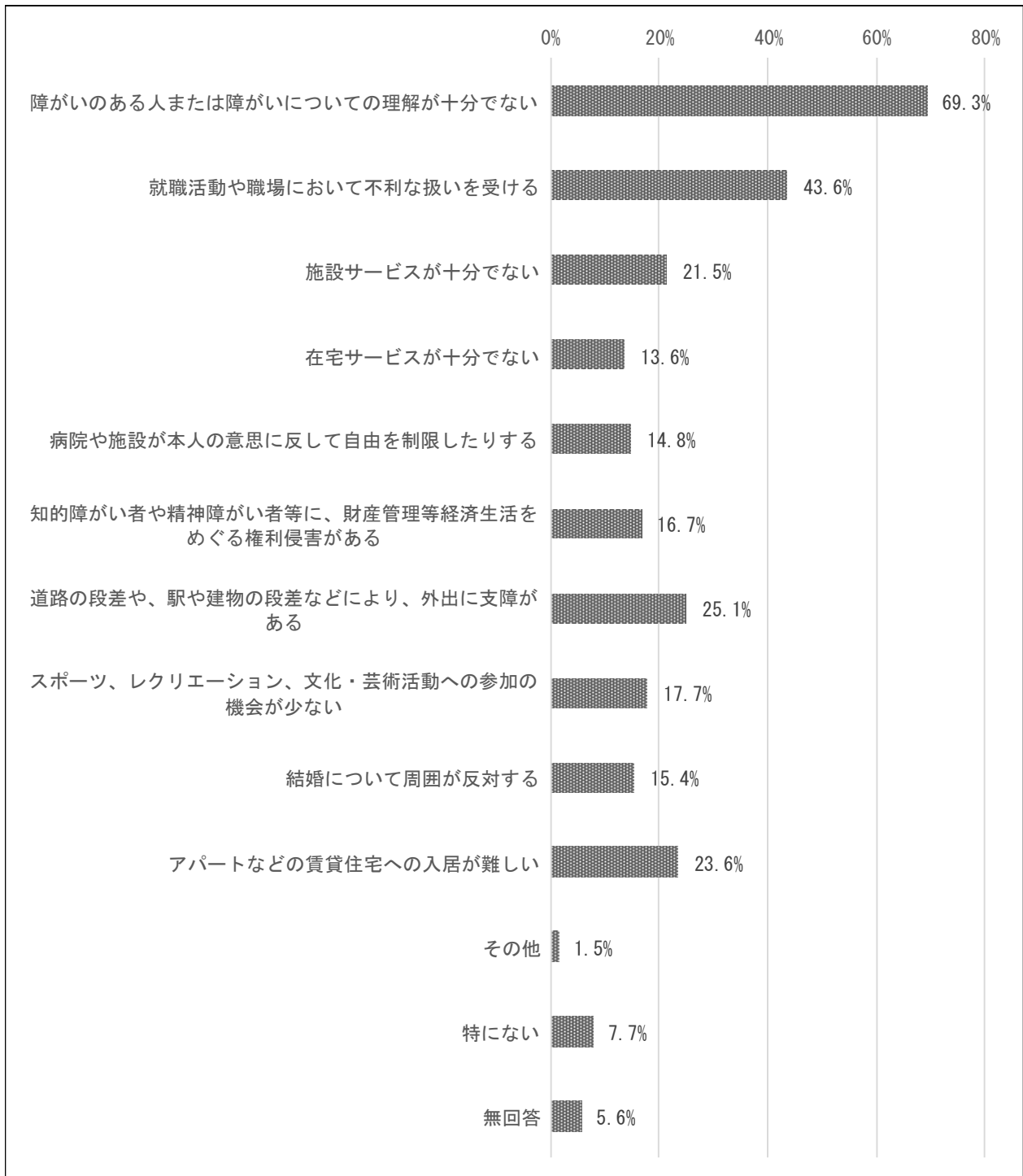
問12 あなたは、障がいのある人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

障がいのある人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障がいのある人または障がいについての理解が十分でない」が69.3%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が43.6%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある」が25.1%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 障がいのある人または障がいについての理解が十分でない	332	69.3%
2 就職活動や職場において不利な扱いを受ける	209	43.6%
3 施設サービスが十分でない	103	21.5%
4 在宅サービスが十分でない	65	13.6%
5 病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	71	14.8%
6 知的障がい者や精神障がい者等に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	80	16.7%
7 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	120	25.1%
8 スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ない	85	17.7%
9 結婚について周囲が反対する	74	15.4%
10 アパート等への入居が難しい	113	23.6%
11 その他	7	1.5%
12 特にない	37	7.7%
無回答	27	5.6%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「障がいのある人または障がいについての理解が十分でない」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
障がいのある人または障がいについての理解が十分でない	71.6%	73.0%	69.7%	73.5%	63.1%
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	49.3%	50.8%	47.5%	40.2%	38.5%
施設サービスが十分でない	17.9%	20.6%	29.3%	23.1%	16.9%
在宅サービスが十分でない	7.5%	14.3%	16.2%	14.5%	13.8%
病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	16.4%	12.7%	15.2%	13.7%	16.2%
知的障がい者や精神障がい者等に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	17.9%	20.6%	24.2%	18.8%	6.9%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	17.9%	28.6%	19.2%	27.4%	30.0%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ない	13.4%	14.3%	18.2%	19.7%	20.0%
結婚について周囲が反対する	19.4%	25.4%	15.2%	17.9%	6.9%
アパート等への入居が難しい	14.9%	27.0%	25.3%	27.4%	22.3%
その他	0.0%	4.8%	1.0%	1.7%	0.8%
特にない	7.5%	4.8%	7.1%	6.8%	10.8%
無回答	0.0%	4.8%	3.0%	2.6%	12.3%

(注) 部分：主な評価箇所

問13 あなたは、障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

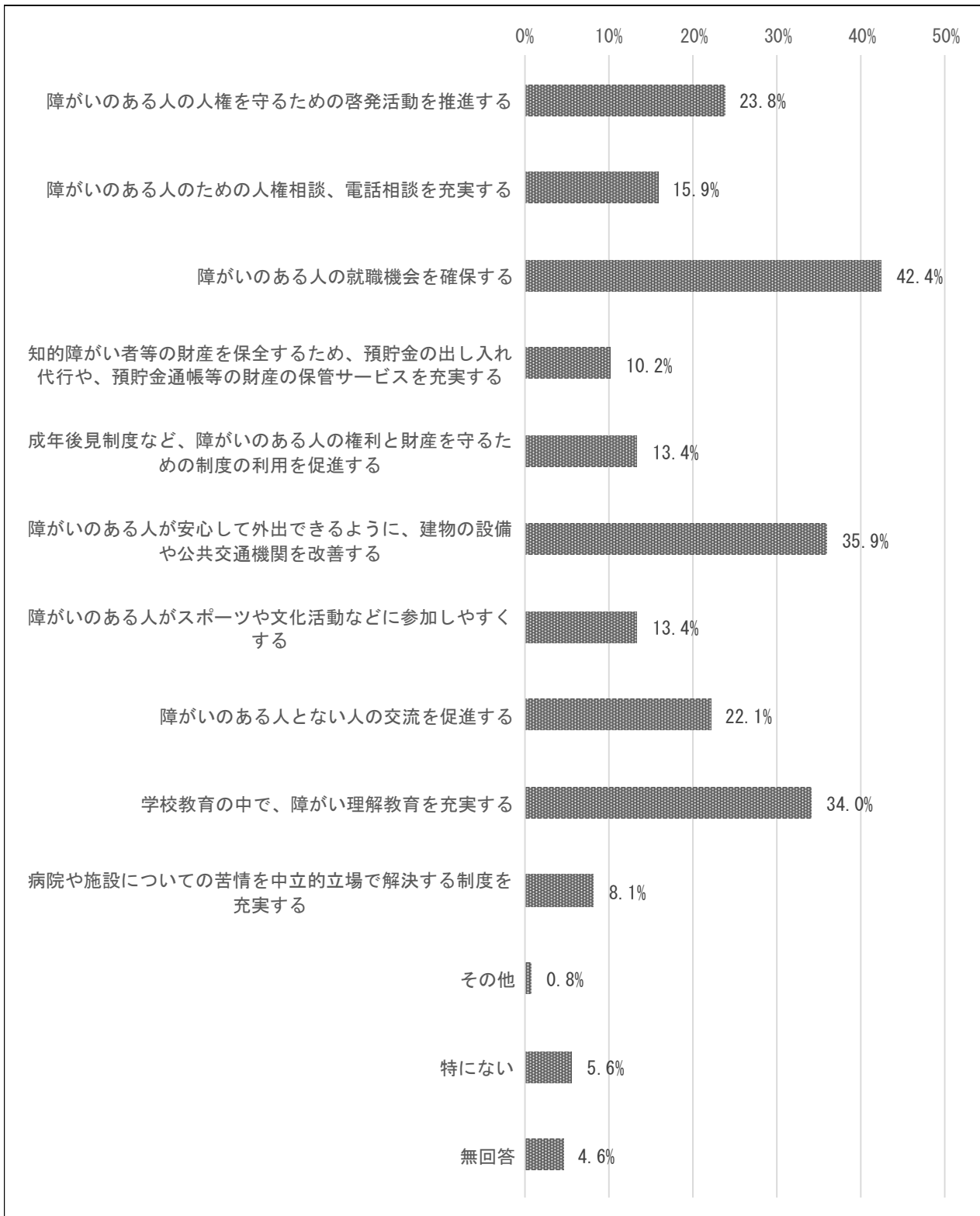
【全体】

障がいのある人の人権を守るために必要なこととして、「障がいのある人の就職機会を確保する」が42.4%で最も高く、次いで「障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が35.9%、「学校教育の中で、障がい理解教育を充実する」が34.0%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進する	114	23.8%
2 障がいのある人のための人権相談、電話相談を充実する	76	15.9%
3 障がいのある人の就職機会を確保する	203	42.4%
4 知的障がい者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	49	10.2%
5 成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	64	13.4%
6 障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	172	35.9%
7 障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	64	13.4%
8 障がいのある人とない人の交流を促進する	106	22.1%
9 学校教育の中で、障がい理解教育を充実する	163	34.0%
10 病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	39	8.1%
11 その他	4	0.8%
12 特にない	27	5.6%
無回答	22	4.6%

回答者数 479人

5 障がいのある人の人権に対する意識



【年代別】

18～20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「障がいのある人の就業機会を確保する」が最も高く、30歳代では同率で「障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が、40歳代では同率で「学校教育の中で、障がい理解教育を充実する」が最も高くなっている。60歳以上では「障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進する	25.4%	14.3%	20.2%	21.4%	33.1%
障がいのある人のための人権相談、電話相談を充実する	22.4%	11.1%	17.2%	10.3%	18.5%
障がいのある人の就職機会を確保する	46.3%	39.7%	42.4%	47.0%	37.7%
知的障がい者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	11.9%	6.3%	8.1%	15.4%	8.5%
成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	9.0%	17.5%	18.2%	11.1%	12.3%
障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	29.9%	39.7%	37.4%	34.2%	38.5%
障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	9.0%	17.5%	10.1%	14.5%	15.4%
障がいのある人とない人の交流を促進する	22.4%	25.4%	29.3%	23.9%	13.8%
学校教育の中で、障がい理解教育を充実する	35.8%	31.7%	42.4%	35.9%	26.9%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	9.0%	4.8%	8.1%	9.4%	8.5%
その他	0.0%	3.2%	0.0%	0.9%	0.8%
特にない	4.5%	6.3%	5.1%	5.1%	6.9%
無回答	0.0%	6.3%	2.0%	3.4%	8.5%

(注) 部分：主な評価箇所

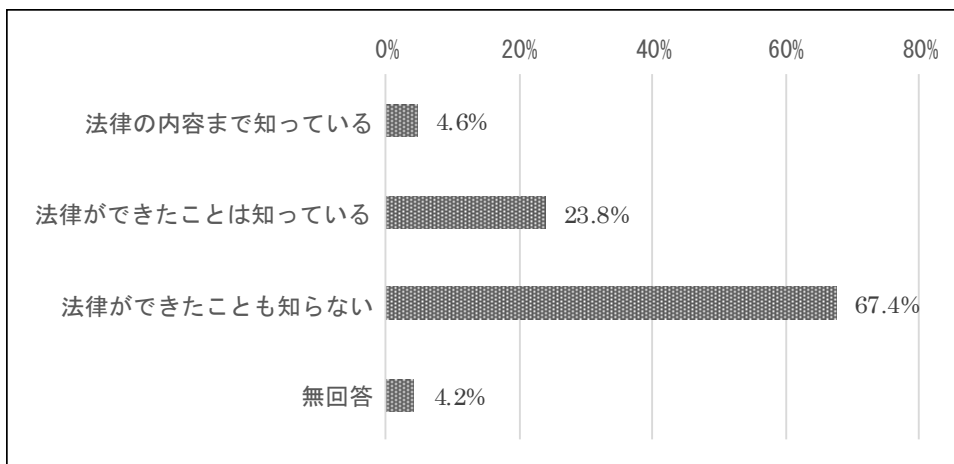
問14 あなたは、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」を、ご存知ですか。(〇は1つ)

【全体】

「法律ができたことも知らない」が67.4%で最も高く、「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合が28.4%となっている。

区分	回答数	構成比
1 法律の内容まで知っている	22	4.6%
2 法律ができたことは知っている	114	23.8%
3 法律ができたことも知らない	323	67.4%
4 無回答	20	4.2%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「法律ができたことも知らない」の割合が高くなっている。

「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合では、18～20歳代、30歳代、60歳以上は30%以上となっている。

区分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
法律の内容まで知っている	4.5%	3.2%	3.0%	8.5%	3.1%
法律ができたことは知っている	26.9%	27.0%	23.2%	17.9%	26.9%
法律ができたことも知らない	68.7%	66.7%	72.7%	70.1%	61.5%
無回答	0.0%	3.2%	1.0%	3.4%	8.5%

(注) 部分：主な評価箇所

6 同和問題（部落差別）に対する意識

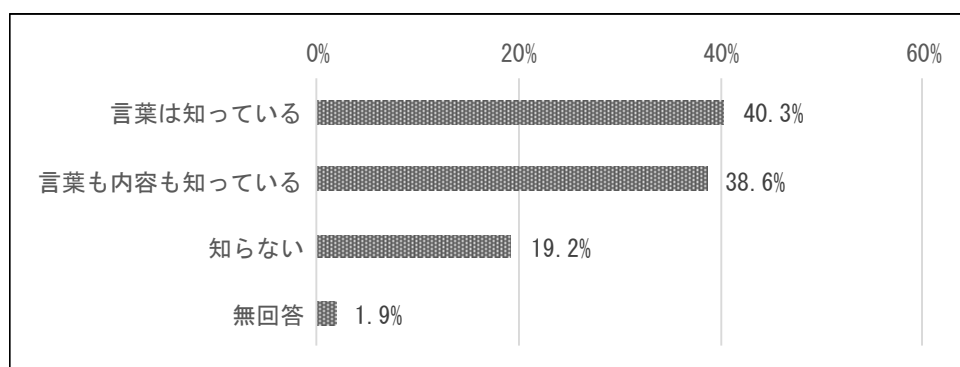
問15 あなたは、同和問題（部落差別）について、知っていますか。（○は1つ）

【全体】

「言葉は知っている」、「言葉も内容も知っている」の合計割合が78.9%となっている。

区分	回答数	構成比
1 言葉は知っている	193	40.3%
2 言葉も内容も知っている	185	38.6%
3 知らない	92	19.2%
4 無回答	9	1.9%

回答者数 479人



【年代別】

50歳代以上では、「言葉は知っている」、「言葉も内容も知っている」の合計割合が80%を超えているが、18～20歳代、30歳代では、「知らない」の割合が他世代と比べて高くなっている。

区分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
言葉は知っている	41.8%	30.2%	38.4%	41.9%	44.6%
言葉も内容も知っている	28.4%	39.7%	40.4%	44.4%	37.7%
知らない	29.9%	28.6%	20.2%	12.0%	14.6%
無回答	0.0%	1.6%	1.0%	1.7%	3.1%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

問16 あなたは、同和問題（部落差別）について、初めて知ったのはいつですか。

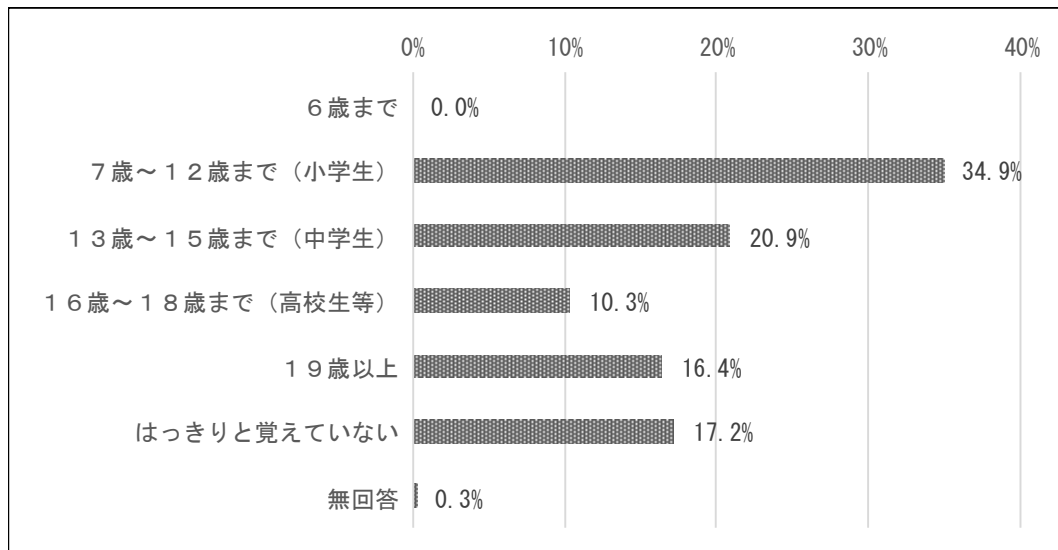
（○は1つ）

【全体】

同和問題（部落差別）を知っていると回答した378人に対し、初めて知ったのはいつか聞いたところ、「7歳～12歳まで（小学生）」が34.9%で最も高く、次いで「13歳～15歳まで（中学生）」が20.9%となっている。

区分	回答数	構成比
1 6歳まで	0	0.0%
2 7歳～12歳まで（小学生）	132	34.9%
3 13歳～15歳まで（中学生）	79	20.9%
4 16歳～18歳まで（高校生等）	39	10.3%
5 19歳以上	62	16.4%
6 はっきりと覚えていない	65	17.2%
無回答	1	0.3%

回答者数 378人



【年代別】

30歳代から50歳代までは「7歳～12歳まで（小学生）」が、18～20歳代では「13歳～15歳まで（中学生）」が、60歳以上では「19歳以上」が最も高くなっている。

区 分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
6歳まで	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7歳～12歳まで（小学生）	17.0%	40.9%	52.6%	45.5%	17.8%
13歳～15歳まで（中学生）	36.2%	22.7%	14.1%	18.8%	19.6%
16歳～18歳まで（高校生等）	14.9%	0.0%	6.4%	12.9%	13.1%
19歳以上	14.9%	13.6%	11.5%	8.9%	29.0%
はっきりと覚えていない	17.0%	22.7%	14.1%	13.9%	20.6%
無回答	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%

（注） 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

問17 あなたは、同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、何からですか。（○は1つ）

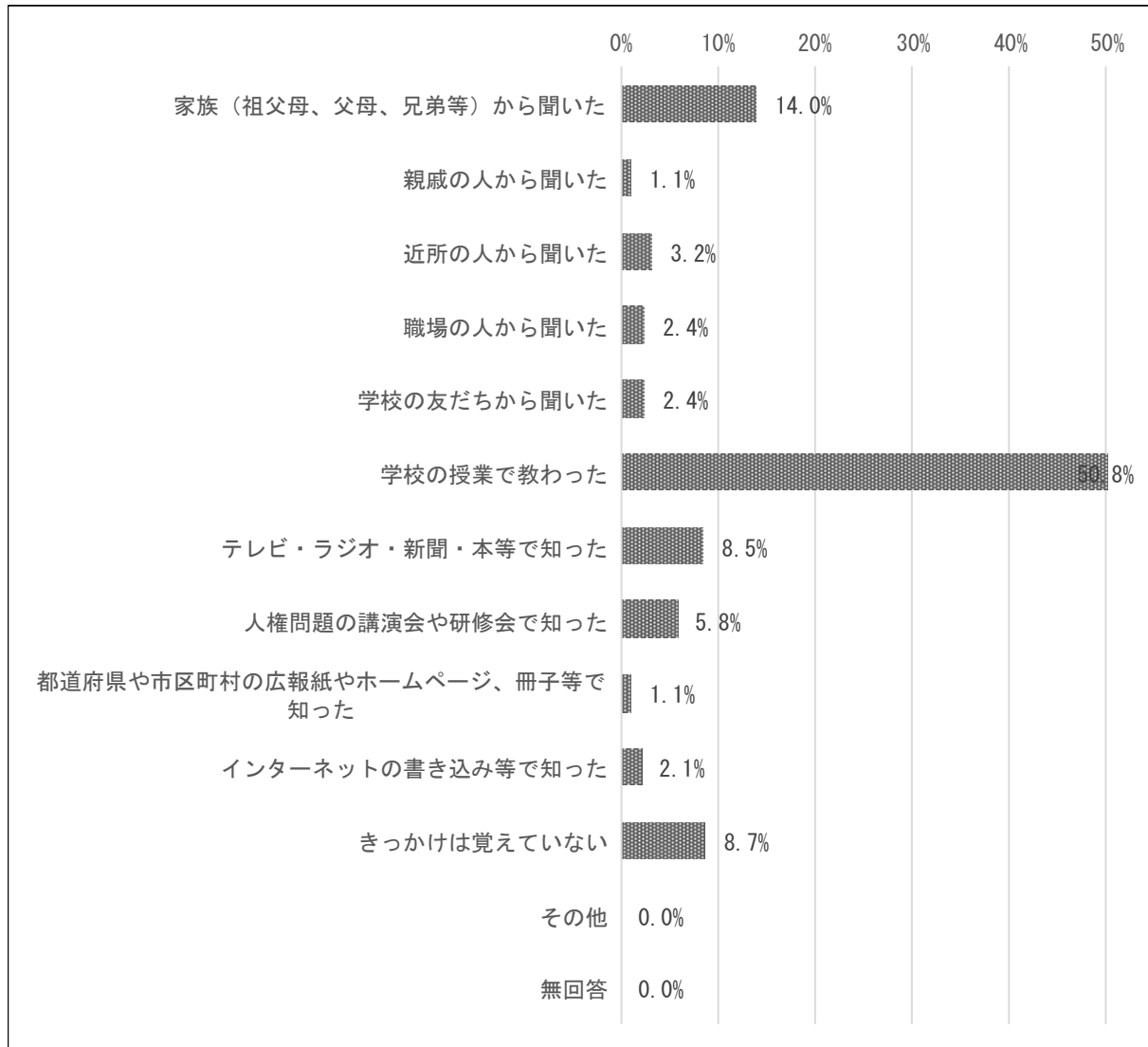
【全体】

同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が50.8%で最も高く、次いで「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が14.0%、「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」が8.7%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた	53	14.0%
2 親戚の人から聞いた	4	1.1%
3 近所の人から聞いた	12	3.2%
4 職場の人から聞いた	9	2.4%
5 学校の友だちから聞いた	9	2.4%
6 学校の授業で教わった	192	50.8%
7 テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	32	8.5%
8 同和問題の講演会や研修会で知った	22	5.8%
9 都道府県や市区町村の広報紙やホームページ、冊子等で知った	4	1.1%
10 インターネットの書き込み等で知った	8	2.1%
11 同和問題は知っているがきっかけは覚えていない	33	8.7%
12 その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

回答者数 378人

6 同和問題（部落差別）に対する意識



【年代別】

18～20歳代から50歳代までは「学校の授業で教わった」が、60歳以上では「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた	2.1%	9.1%	9.0%	14.9%	24.3%
親戚の人から聞いた	2.1%	0.0%	1.3%	1.0%	0.9%
近所の人から聞いた	2.1%	0.0%	1.3%	5.0%	4.7%
職場の人から聞いた	0.0%	2.3%	0.0%	3.0%	4.7%
学校の友だちから聞いた	0.0%	0.0%	2.6%	1.0%	5.6%
学校の授業で教わった	68.1%	63.6%	64.1%	61.4%	17.8%
テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	2.1%	4.5%	6.4%	6.9%	15.9%
同和問題の講演会や研修会で知った	8.5%	9.1%	5.1%	0.0%	9.3%
都道府県や市区町村の広報紙やホームページ、冊子等で知った	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
インターネットの書き込み等で知った	6.4%	2.3%	3.8%	1.0%	0.0%
同和問題は知っているがきっかけは覚えていない	8.5%	9.1%	6.4%	5.9%	13.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

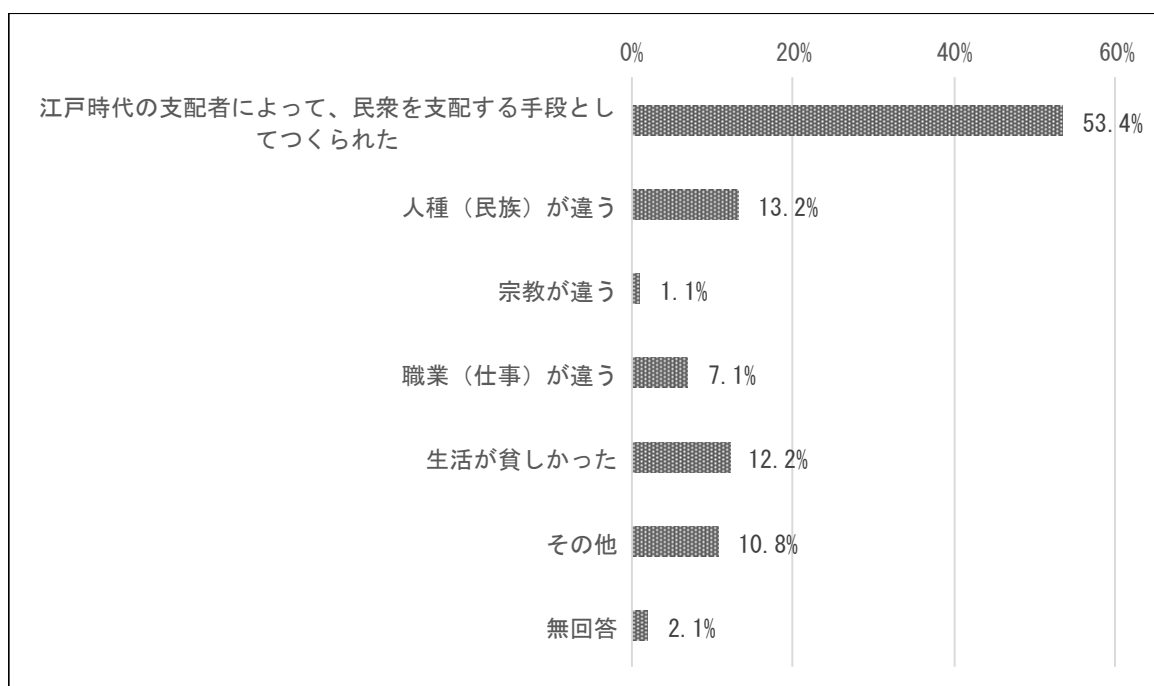
問18 あなたは、同和問題（部落差別）の起こりについて、どのように受け止めていますか。（○は1つ）

【全体】

同和問題（部落差別）の起こりについて、どのように受け止めているかは、「江戸時代の支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられた」が53.4%で最も高く、次いで「人種（民族）が違う」が13.2%となっている。

区分	回答数	構成比
1 江戸時代の支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられた	202	53.4%
2 人種（民族）が違う	50	13.2%
3 宗教が違う	4	1.1%
4 職業（仕事）が違う	27	7.1%
5 生活が貧しかった	46	12.2%
6 その他	41	10.8%
無回答	8	2.1%

回答者数 378人



【年代別】

各年代において「江戸時代の支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられた」が45%以上となっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
江戸時代の支配者によって、民衆を 支配する手段としてつくられた	46.8%	63.6%	55.1%	53.5%	51.4%
人種（民族）が違う	21.3%	6.8%	16.7%	8.9%	14.0%
宗教が違う	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	1.9%
職業（仕事）が違う	6.4%	4.5%	5.1%	7.9%	9.3%
生活が貧しかった	12.8%	9.1%	5.1%	18.8%	11.2%
その他	12.8%	13.6%	14.1%	10.9%	6.5%
無回答	0.0%	2.3%	1.3%	0.0%	5.6%

（注） 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

問19 あなたは、過去に実社会やインターネット上で、部落差別による被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしたことがありますか。あるいは、あなたの親族・知人が、過去に同様の被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしているのを見聞きしたことがありますか。あるとしたら、どのような場面、事例でしたか。（該当するものすべてに○）

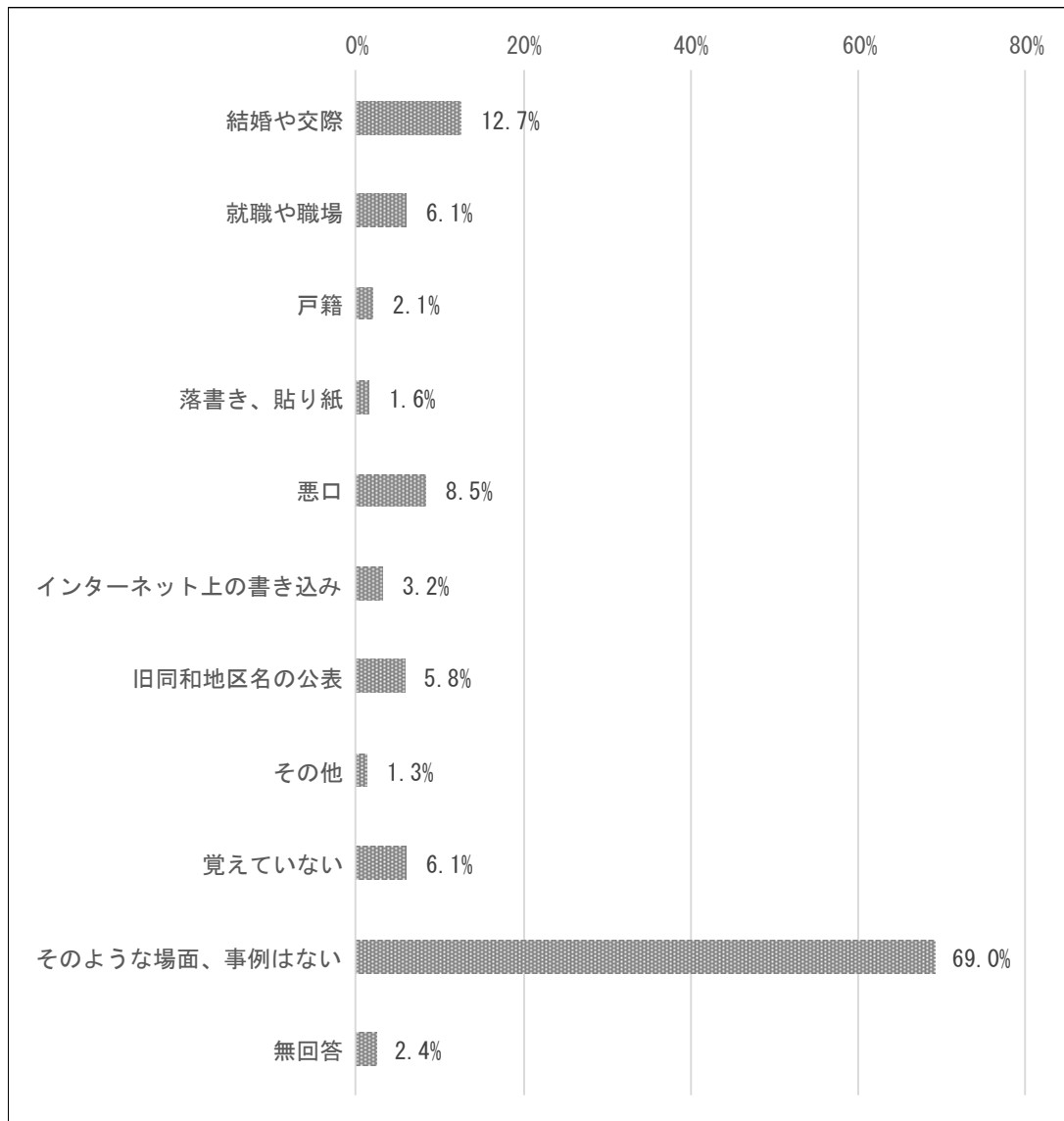
【全体】

過去に実社会やインターネット上において、部落差別による被害を受けたり、反対に部落差別に当たる言動をしたことがあるかについては、「そのような場面、事例はない」が69.0%で最も高く、見聞きしたことがある場合の事例としては、「結婚や交際」が12.7%、次いで「悪口」が8.5%、「就職や職場」、「覚えていない」が同率の6.1%、「旧同和地区名の公表」が5.8%、「インターネット上の書き込み」が3.2%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 結婚や交際	48	12.7%
2 就職や職場	23	6.1%
3 戸籍	8	2.1%
4 落書き、貼り紙	6	1.6%
5 悪口	32	8.5%
6 インターネット上の書き込み	12	3.2%
7 旧同和地区名の公表	22	5.8%
8 その他	5	1.3%
9 覚えていない	23	6.1%
10 そのような場面、事例はない	261	69.0%
無回答	9	2.4%

回答者数 378人

6 同和問題（部落差別）に対する意識



【年代別】

60歳以上を除く各年代において「そのような場面、事例はない」が70%を超えているが、50歳代では「結婚や交際」が10%を超え、60歳以上では「結婚や交際」、「悪口」、「旧同和地区名の公表」が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
結婚や交際	2.1%	2.3%	3.8%	10.9%	29.9%
就職や職場	0.0%	0.0%	6.4%	5.9%	11.2%
戸籍	0.0%	2.3%	1.3%	0.0%	5.6%
落書き、貼り紙	0.0%	0.0%	1.3%	1.0%	3.7%
悪口	4.3%	0.0%	6.4%	5.9%	17.8%
インターネット上の書き込み	0.0%	2.3%	3.8%	5.9%	1.9%
旧同和地区名の公表	0.0%	0.0%	3.8%	4.0%	14.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.9%
覚えていない	8.5%	4.5%	7.7%	2.0%	8.4%
そのような場面、事例はない	87.2%	88.6%	74.4%	76.2%	42.1%
無回答	0.0%	2.3%	1.3%	2.0%	4.7%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

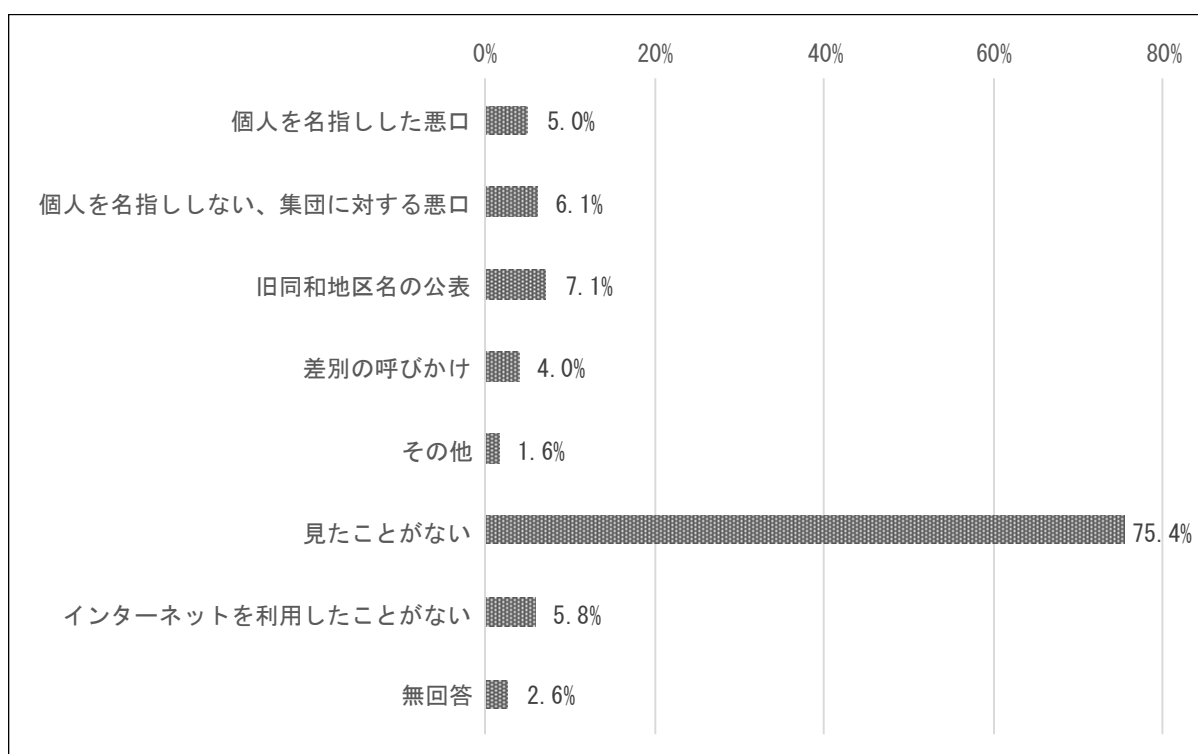
問20 あなたは、同和問題（部落差別）に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。あるとしたら、どのような内容のものでしたか。
（該当するものすべてに○）

【全体】

インターネット上で人権侵害事例を見たことがあるか聞いたところ、「見たことがない」が75.4%で最も高く、次いで「旧同和地区名の公表」が7.1%、「個人を名指ししない、集団に対する悪口」が6.1%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 個人を名指しした悪口	19	5.0%
2 個人を名指ししない、集団に対する悪口	23	6.1%
3 旧同和地区名の公表	27	7.1%
4 差別の呼びかけ	15	4.0%
5 その他	6	1.6%
6 見たことがない	285	75.4%
7 インターネットを利用したことがない	22	5.8%
無回答	10	2.6%

回答者数 378人



【年代別】

各年代において、「見たことがない」が最も高くなっている。次いで、18～20歳代では「個人を名指しした悪口」、「個人を名指ししない、集団に対する悪口」が高く、30歳代では「個人を名指ししない、集団に対する悪口」、「旧同和地区名の公表」が、40歳代、60歳以上では「旧同和地区名の公表」が、50歳代では「個人を名指しした悪口」が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
個人を名指しした悪口	8.5%	4.5%	2.6%	6.9%	3.7%
個人を名指ししない、集団に対する悪口	8.5%	9.1%	6.4%	4.0%	5.6%
旧同和地区名の公表	0.0%	9.1%	9.0%	4.0%	11.2%
差別の呼びかけ	0.0%	4.5%	2.6%	4.0%	6.5%
その他	0.0%	2.3%	1.3%	2.0%	1.9%
見たことがない	85.1%	79.5%	82.1%	83.2%	57.0%
インターネットを利用したことがない	2.1%	0.0%	1.3%	3.0%	15.9%
無回答	0.0%	2.3%	1.3%	1.0%	6.5%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

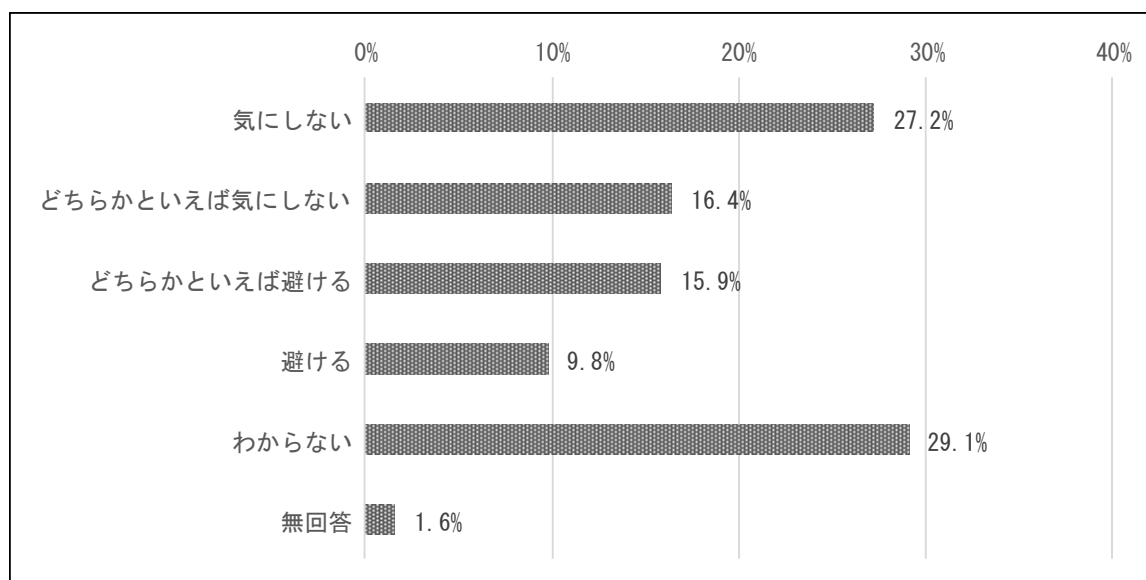
問21 あなたは、住宅の購入や生活環境を選ぶ際に、仮にその場所が同和地区であった場合、避けますか。（○は1つ）

【全体】

住宅の購入や生活環境を選ぶ際に、仮にその場所が同和地区であった場合の対応を聞いたところ、「わからない」が29.1%で最も高く、次いで「気にしない」が27.2%、「どちらかといえば気にしない」が16.4%となっている。

区分	回答数	構成比
1 気にしない	103	27.2%
2 どちらかといえば気にしない	62	16.4%
3 どちらかといえば避ける	60	15.9%
4 避ける	37	9.8%
5 わからない	110	29.1%
無回答	6	1.6%

回答者数 378人



【年代別】

18～20歳代、30歳代では「気にしない」が、40歳代、50歳代、60歳以上では「わからない」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
気にしない	34.0%	40.9%	19.2%	21.8%	29.9%
どちらかといえば気にしない	12.8%	13.6%	16.7%	16.8%	18.7%
どちらかといえば避ける	21.3%	13.6%	20.5%	16.8%	9.3%
避ける	6.4%	9.1%	11.5%	13.9%	6.5%
わからない	25.5%	20.5%	30.8%	30.7%	31.8%
無回答	0.0%	2.3%	1.3%	0.0%	3.7%

(注) ■部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

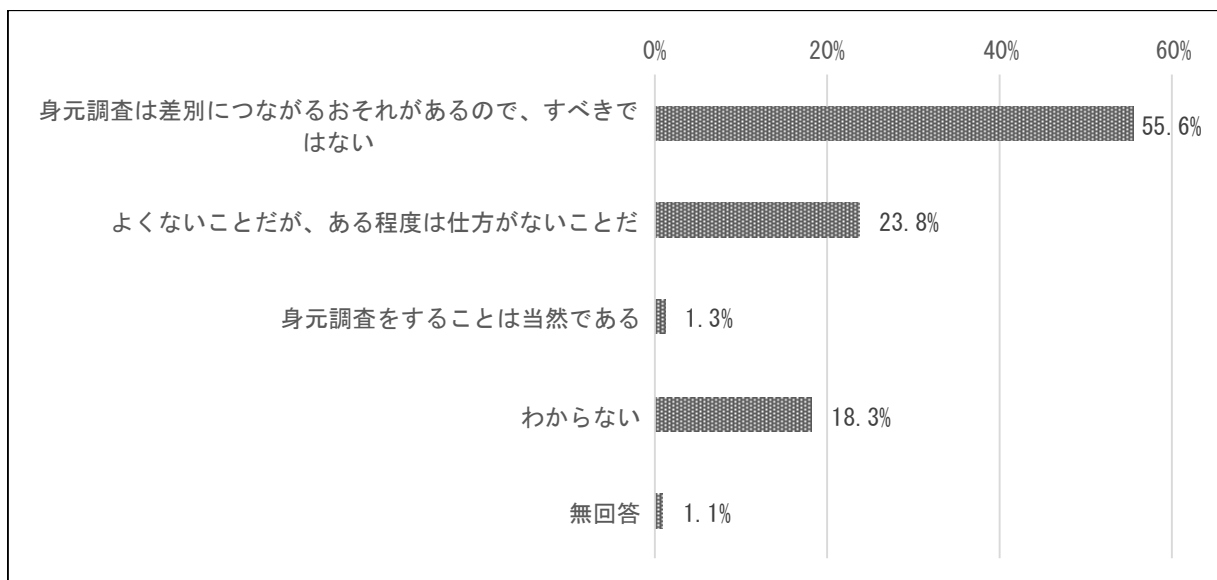
問22 あなたは、結婚や就職の際に、同和地区出身者であるかについて身元調査をすることをどう思いますか。（○は1つ）

【全体】

「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」が55.6%で最も高く、次いで「よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ」が23.8%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない	210	55.6%
2 よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ	90	23.8%
3 身元調査をすることは当然である	5	1.3%
4 わからない	69	18.3%
無回答	4	1.1%

回答者数 378人



【年代別】

各年代で「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない	48.9%	61.4%	57.7%	56.4%	54.2%
よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ	21.3%	15.9%	24.4%	26.7%	25.2%
身元調査をすることは当然である	4.3%	0.0%	1.3%	1.0%	0.9%
わからない	25.5%	20.5%	16.7%	15.8%	16.8%
無回答	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.8%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

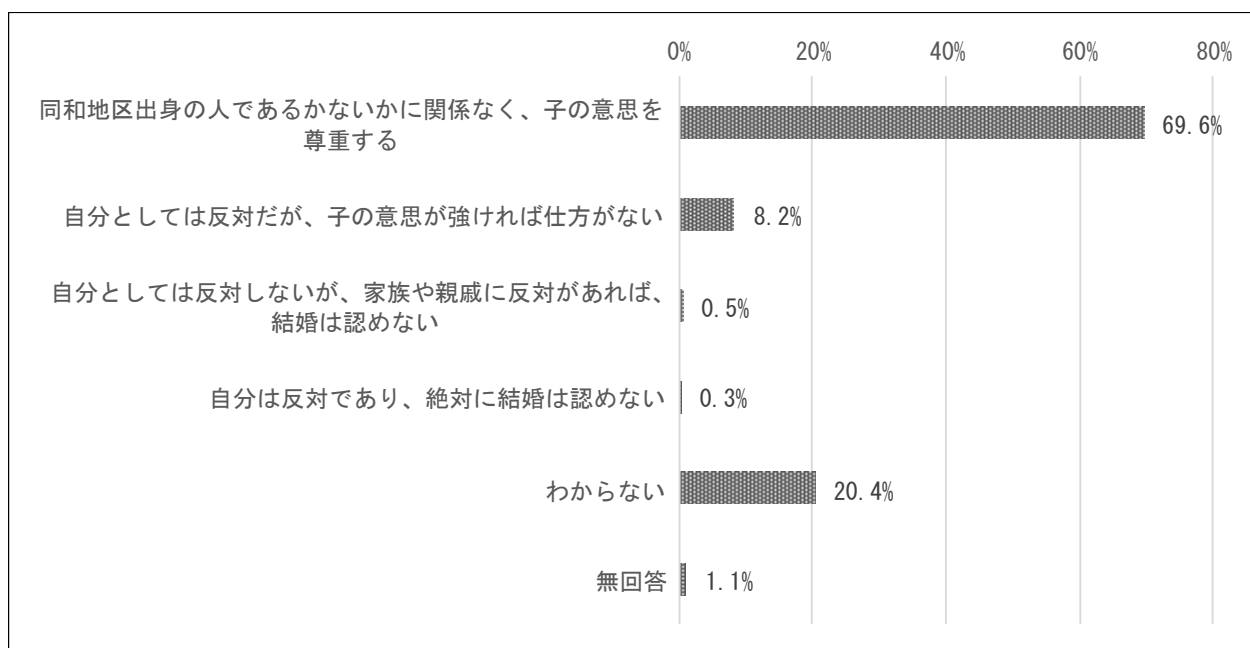
問23 あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。（○は1つ）

【全体】

子どもが同和地区出身の人と結婚しようとした場合の対応は、「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が69.6%で最も高く、次いで「わからない」が20.4%、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が8.2%となっている。

区分	回答数	構成比
1 同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	263	69.6%
2 自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない	31	8.2%
3 自分としては反対しないが、家族や親戚に反対があれば、結婚は認めない	2	0.5%
4 自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	1	0.3%
5 わからない	77	20.4%
無回答	4	1.1%

回答者数 378人



【年代別】

各年代で「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	74.5%	70.5%	73.1%	71.3%	63.6%
自分としては反対だが、子の意志が強ければ仕方がない	4.3%	9.1%	7.7%	6.9%	11.2%
自分としては反対しないが、家族や親戚に反対があれば、結婚は認めない	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.9%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
わからない	21.3%	15.9%	19.2%	21.8%	20.6%
無回答	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.8%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

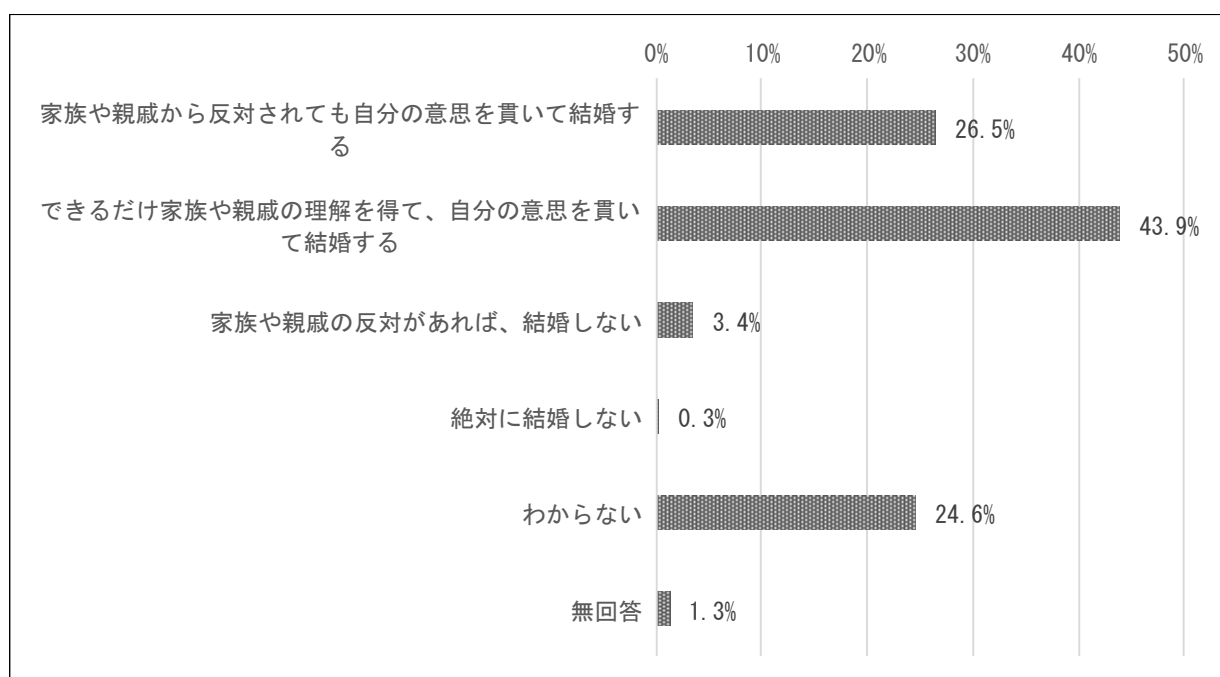
問24 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうされますか。（○は1つ）

【全体】

結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合の対応は、「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が43.9%で最も高く、次いで「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が26.5%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	100	26.5%
2 できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	166	43.9%
3 家族や親戚の反対があれば、結婚しない	13	3.4%
4 絶対に結婚しない	1	0.3%
5 わからない	93	24.6%
無回答	5	1.3%

回答者数 378人



【年代別】

各年代で「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	23.4%	25.0%	23.1%	30.7%	27.1%
できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	57.4%	47.7%	55.1%	35.6%	36.4%
家族や親戚の反対があれば、結婚しない	0.0%	2.3%	2.6%	3.0%	6.5%
絶対に結婚しない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
わからない	19.1%	22.7%	19.2%	30.7%	25.2%
無回答	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	3.7%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

問25 あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

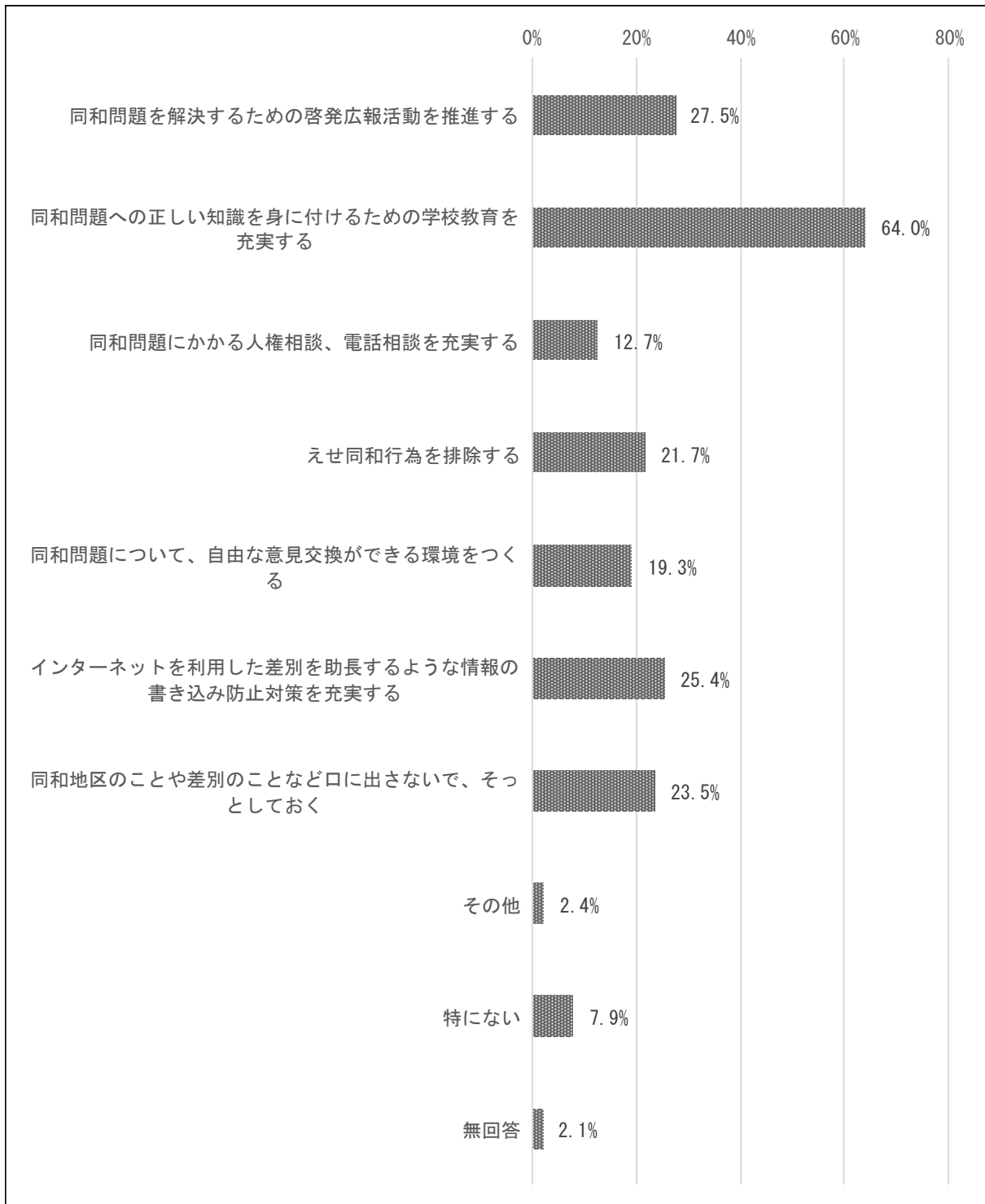
【全体】

同和問題（部落差別）の解決のために必要なことを聞いたところ、「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が64.0%で最も高く、次いで「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」が27.5%、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の書き込み防止対策を充実する」が25.4%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	104	27.5%
2 同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	242	64.0%
3 同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	48	12.7%
4 えせ同和行為を排除する	82	21.7%
5 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	73	19.3%
6 インターネットを利用した差別を助長するような情報の書き込み防止対策を充実する	96	25.4%
7 同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	89	23.5%
8 その他	9	2.4%
9 特になし	30	7.9%
無回答	8	2.1%

回答者数 378人

6 同和問題（部落差別）に対する意識



【年代別】

各年代において「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	25.5%	13.6%	30.8%	26.7%	32.7%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	68.1%	61.4%	65.4%	67.3%	59.8%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	4.3%	9.1%	10.3%	13.9%	18.7%
えせ同和行為を排除する	29.8%	25.0%	23.1%	22.8%	15.0%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	19.1%	20.5%	10.3%	21.8%	23.4%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の書き込み防止対策を充実する	34.0%	27.3%	23.1%	31.7%	16.8%
同和地区のことや差別のことなど口に出さな いで、そっとしておく	14.9%	34.1%	25.6%	19.8%	25.2%
その他	2.1%	0.0%	1.3%	5.9%	0.9%
特にない	2.1%	2.3%	12.8%	7.9%	8.4%
無回答	0.0%	4.5%	0.0%	1.0%	4.7%

(注) 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

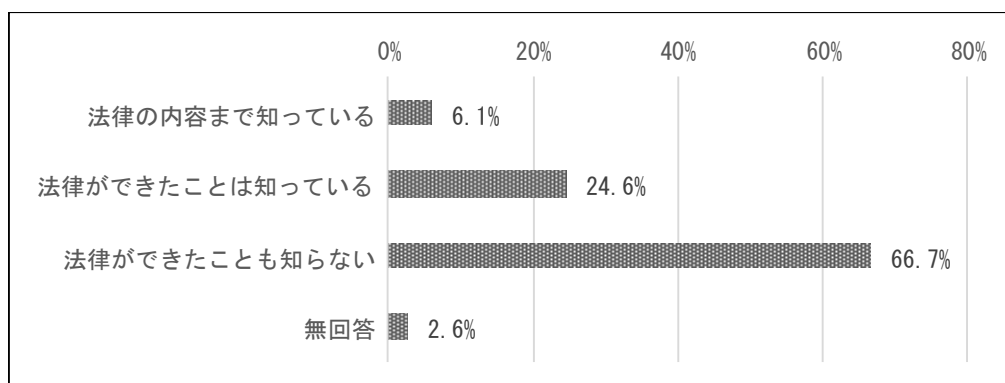
問26 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律」をご存知ですか。（○は1つ）

【全体】

「法律ができたことも知らない」が66.7%で最も高く、「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合が30.7%となっている。

区分	回答数	構成比
1 法律の内容まで知っている	23	6.1%
2 法律ができたことは知っている	93	24.6%
3 法律ができたことも知らない	252	66.7%
無回答	10	2.6%

回答者数 378人



【年代別】

各年代において「法律ができたことも知らない」の割合が最も高くなっている。

「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合では、18～20歳代、30歳代、60歳以上では30%以上となっている。

区分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
法律の内容まで知っている	2.1%	6.8%	5.1%	6.9%	7.5%
法律ができたことは知っている	31.9%	31.8%	14.1%	19.8%	30.8%
法律ができたことも知らない	66.0%	61.4%	79.5%	71.3%	55.1%
無回答	0.0%	0.0%	1.3%	2.0%	6.5%

（注） 部分：主な評価箇所

（問15で、「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して）

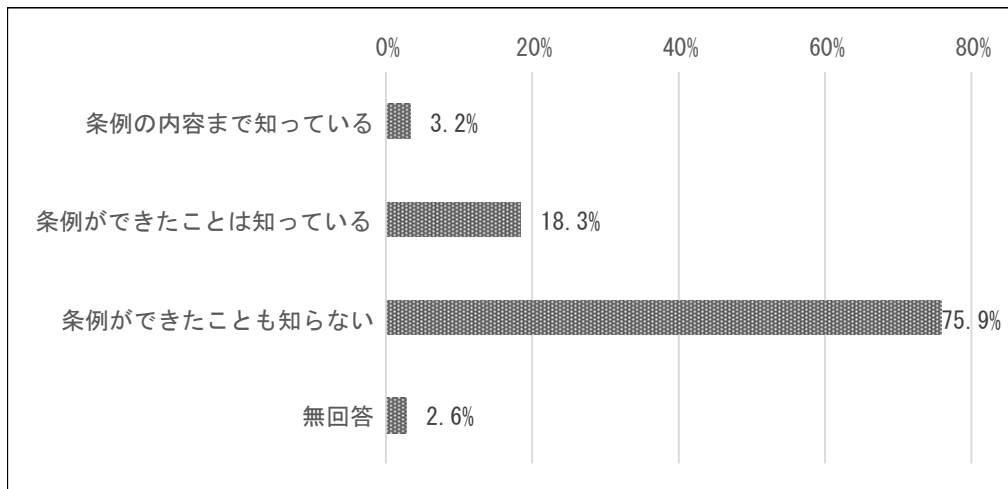
問27 あなたは、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」をご存知ですか。（○は1つ）

【全体】

「条例ができたことも知らない」が75.9%で最も高く、「条例の内容まで知っている」、「条例ができたことは知っている」の合計割合が21.5%となっている。

区分	回答数	構成比
1 条例の内容まで知っている	12	3.2%
2 条例ができたことは知っている	69	18.3%
3 条例ができたことも知らない	287	75.9%
無回答	10	2.6%

回答者数 378人



【年代別】

各年代において「条例ができたことも知らない」の割合が最も高くなっている。

「条例の内容まで知っている」、「条例ができたことは知っている」の合計割合では、30歳代は30%以上となっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
条例の内容まで知っている	2.1%	6.8%	2.6%	3.0%	2.8%
条例ができたことは知っている	17.0%	25.0%	7.7%	14.9%	27.1%
条例ができたことも知らない	80.9%	68.2%	88.5%	80.2%	63.6%
無回答	0.0%	0.0%	1.3%	2.0%	6.5%

(注) 部分：主な評価箇所

7 外国人の人権に対する意識

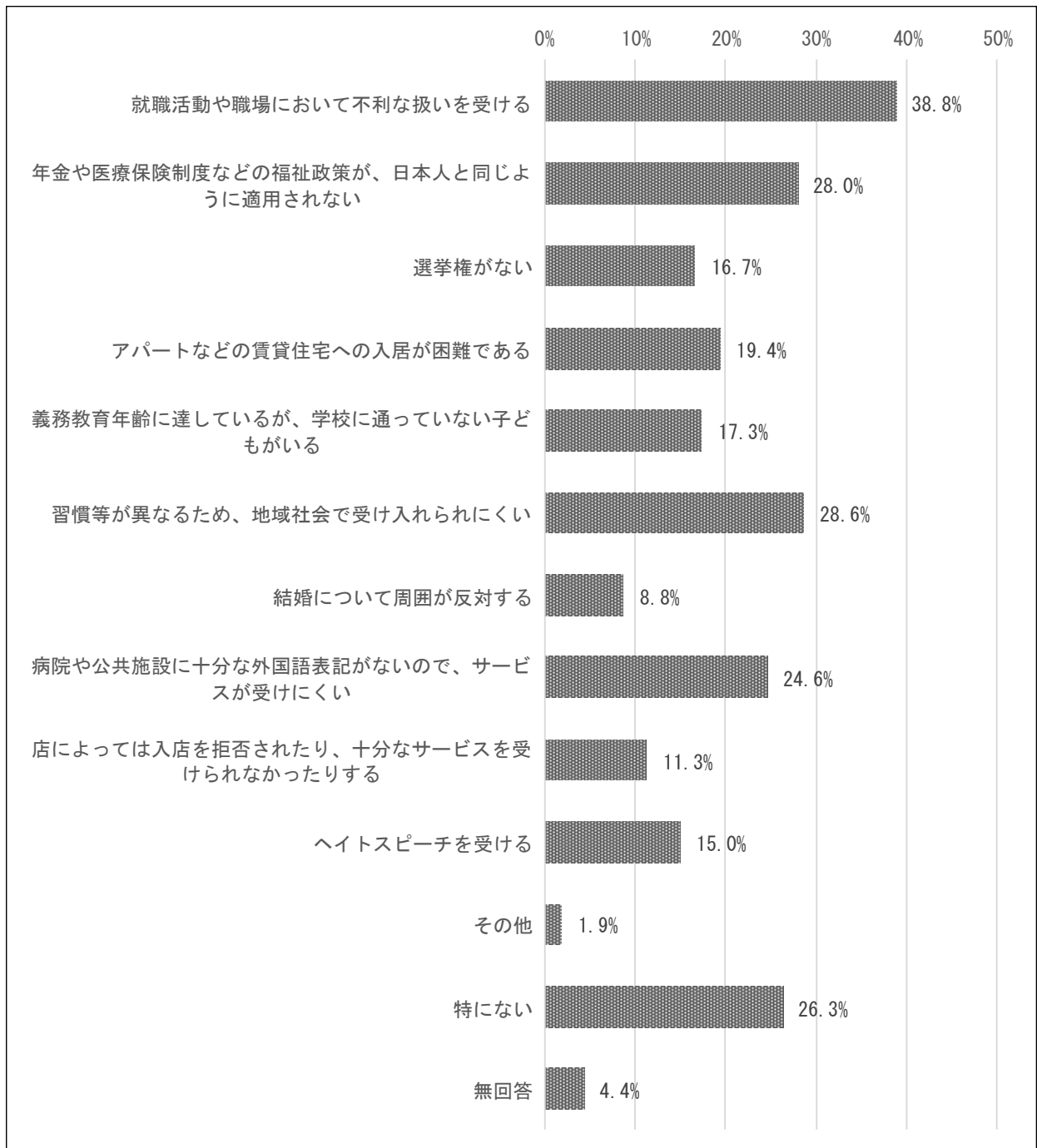
問28 あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が38.8%で最も高く、次いで「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が28.6%、「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」が28.0%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 就職活動や職場において不利な扱いを受ける	186	38.8%
2 年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない	134	28.0%
3 選挙権がない	80	16.7%
4 アパートなどの賃貸住宅への入居が困難である	93	19.4%
5 義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない子どもがいる	83	17.3%
6 習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい	137	28.6%
7 結婚について周囲が反対する	42	8.8%
8 病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい	118	24.6%
9 店によっては入店を拒否されたり、十分なサービスを受けられなかったりする	54	11.3%
10 ヘイトスピーチを受ける	72	15.0%
11 その他	9	1.9%
12 特にない	126	26.3%
無回答	21	4.4%

回答者数 479人



【年代別】

各年代とも「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が最も高くなっている。50歳代、60歳以上では、次いで「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	41.8%	31.7%	40.4%	36.8%	42.3%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない	19.4%	23.8%	32.3%	28.2%	31.5%
選挙権がない	13.4%	12.7%	18.2%	13.7%	22.3%
アパートなどの賃貸住宅への入居が困難である	17.9%	20.6%	16.2%	20.5%	21.5%
義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない子どもがいる	16.4%	19.0%	15.2%	20.5%	16.2%
習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい	22.4%	23.8%	24.2%	34.2%	33.1%
結婚について周囲が反対する	11.9%	15.9%	6.1%	6.8%	7.7%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい	20.9%	19.0%	25.3%	30.8%	23.8%
店によっては入店を拒否されたり、十分なサービスを受けられなかったりする	22.4%	17.5%	11.1%	10.3%	3.8%
ヘイトスピーチを受ける	17.9%	14.3%	16.2%	19.7%	9.2%
その他	0.0%	6.3%	1.0%	2.6%	0.8%
特になし	20.9%	28.6%	29.3%	23.9%	26.9%
無回答	1.5%	0.0%	1.0%	4.3%	10.0%

(注) 部分：主な評価箇所

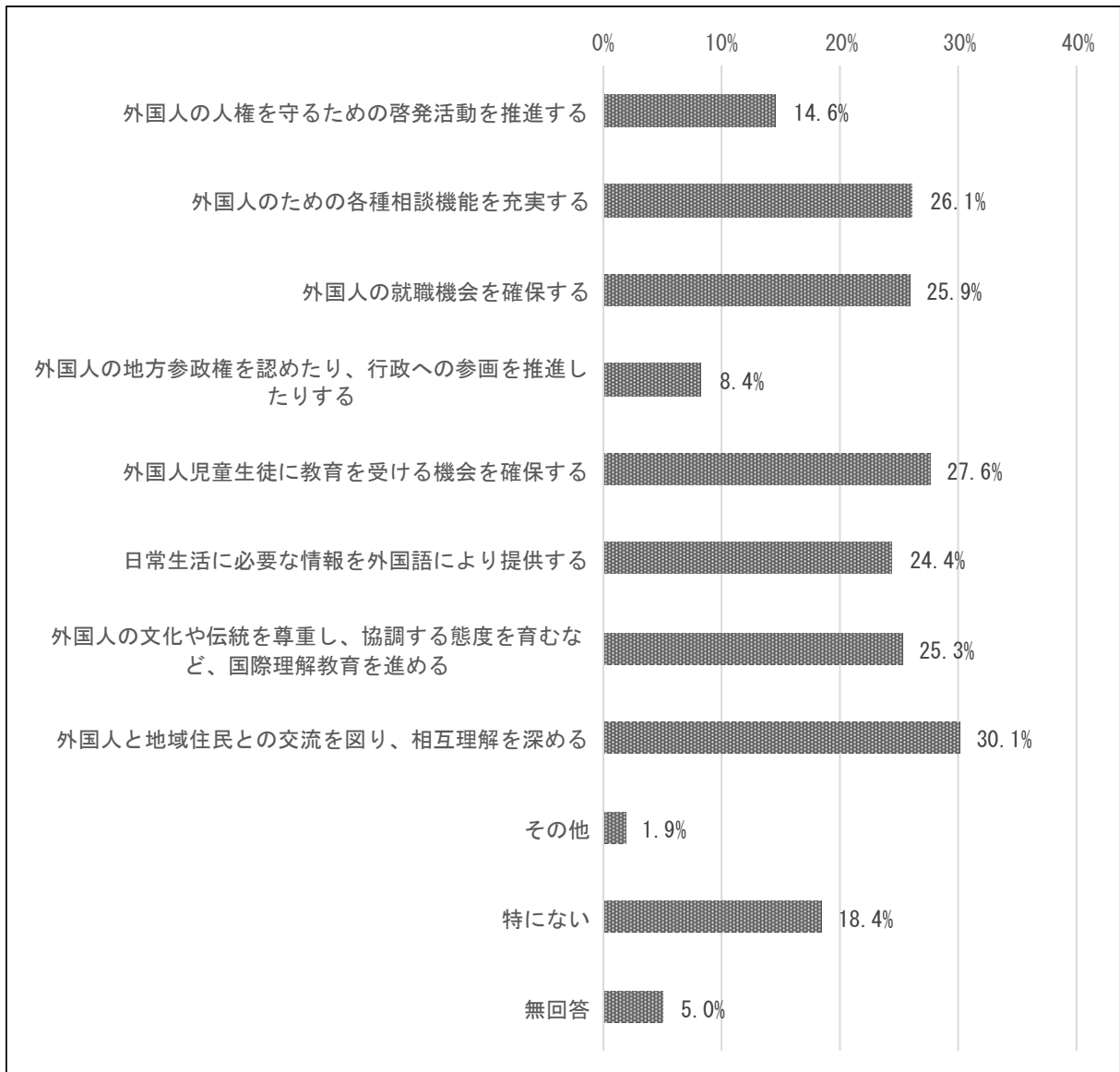
問29 あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

外国人の人権を守るために必要なこととして、「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が30.1%で最も高く、次いで「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」が27.6%、「外国人のための各種相談機能を充実する」が26.1%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	70	14.6%
2 外国人のための各種相談機能を充実する	125	26.1%
3 外国人の就職機会を確保する	124	25.9%
4 外国人の地方参政権を認めたり、行政への参画を推進したりする	40	8.4%
5 外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する	132	27.6%
6 日常生活に必要な情報を外国語により提供する	117	24.4%
7 外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める	121	25.3%
8 外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	144	30.1%
9 その他	9	1.9%
10 特になし	88	18.4%
無回答	24	5.0%

回答者数 479人



【年代別】

18～20歳代、30歳代では「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が、40歳代では「外国人のための各種相談機能を充実する」が最も高く、50歳代では「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」、「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が同率で最も高く、60歳以上では「外国人の就職機会を確保する」が最も高くなっている。

区 分	18～20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	11.9%	7.9%	14.1%	12.0%	22.3%
外国人のための各種相談機能を充実する	19.4%	27.0%	33.3%	25.6%	24.6%
外国人の就職機会を確保する	28.4%	23.8%	24.2%	23.1%	30.0%
外国人の地方参政権を認めたり、行政への参画を推進したりする	4.5%	6.3%	6.1%	8.5%	13.1%
外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する	25.4%	30.2%	28.3%	27.4%	27.7%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	28.4%	23.8%	24.2%	35.0%	13.8%
外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める	32.8%	19.0%	28.3%	25.6%	22.3%
外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	34.3%	31.7%	28.3%	35.0%	24.6%
その他	1.5%	4.8%	2.0%	2.6%	0.0%
特になし	13.4%	20.6%	17.2%	15.4%	22.3%
無回答	1.5%	3.2%	1.0%	5.1%	10.0%

(注) 部分：主な評価箇所

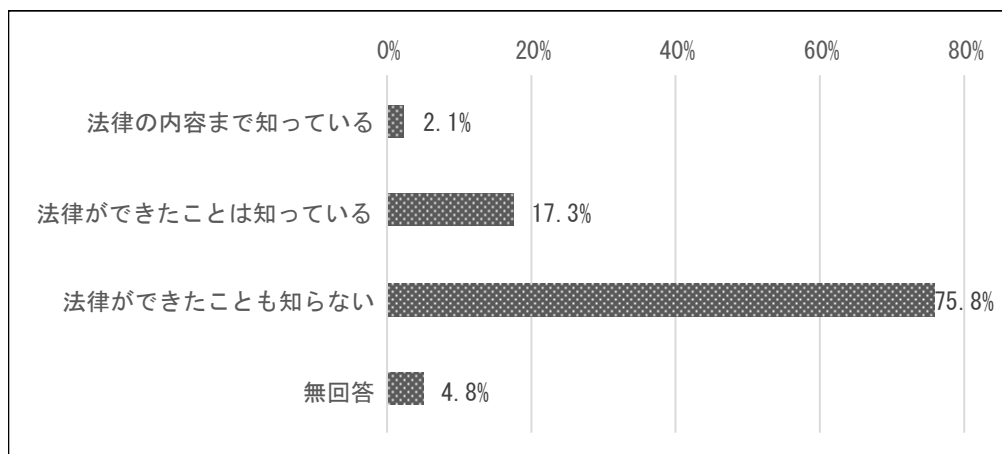
問30 あなたは、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）をご存知ですか。（○は1つ）

【全体】

「法律ができたことも知らない」が75.8%で最も高く、「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合が19.4%となっている。

区分	回答数	構成比
1 法律の内容まで知っている	10	2.1%
2 法律ができたことは知っている	83	17.3%
3 法律ができたことも知らない	363	75.8%
無回答	23	4.8%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「法律ができたことも知らない」の割合が最も高くなっている。

「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合では、50歳代、60歳以上で20%以上となっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
法律の内容まで知っている	0.0%	1.6%	1.0%	3.4%	3.1%
法律ができたことは知っている	11.9%	15.9%	17.2%	18.8%	20.0%
法律ができたことも知らない	86.6%	79.4%	79.8%	73.5%	68.5%
無回答	1.5%	3.2%	2.0%	4.3%	8.5%

(注) 部分：主な評価箇所

8 インターネットによる人権侵害に対する意識

問3 1 あなたは、インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(該当するものすべてに○)

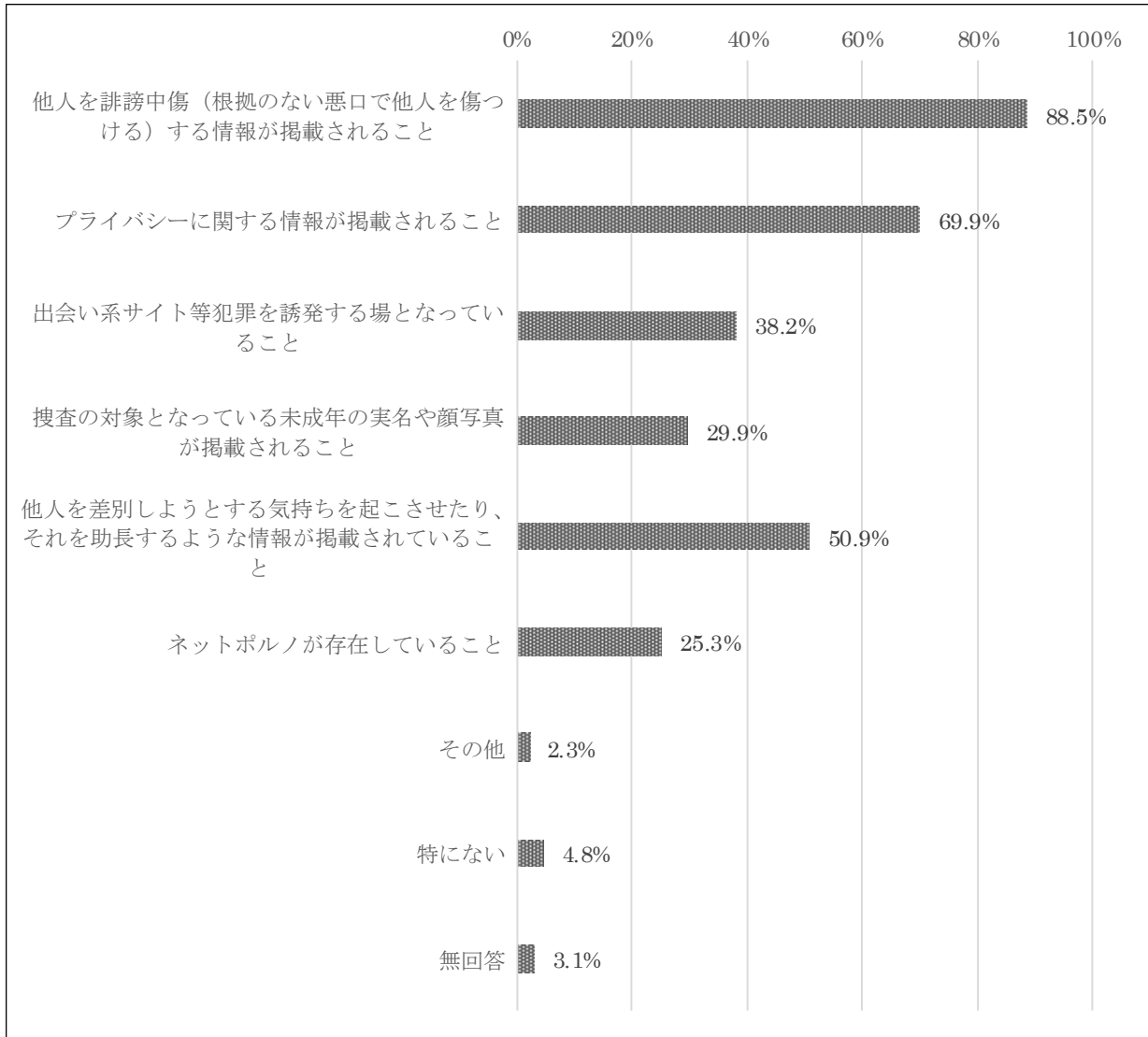
【全体】

インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うことを聞いたところ、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が88.5%で最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」が69.9%、「他人を差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されていること」が50.9%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること	424	88.5%
2 プライバシーに関する情報が掲載されること	335	69.9%
3 出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること	183	38.2%
4 捜査の対象となっている未成年の実名や顔写真が掲載されること	143	29.9%
5 他人を差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されていること	244	50.9%
6 ネットポルノが存在していること	121	25.3%
7 その他	11	2.3%
8 特になし	23	4.8%
無回答	15	3.1%

回答者数 479人

8 インターネットによる人権侵害に対する意識



【年代別】

各年代において「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」となっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること	88.1%	95.2%	94.9%	88.0%	81.5%
プライバシーに関する情報が掲載されること	76.1%	84.1%	71.7%	70.9%	59.2%
出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること	34.3%	41.3%	43.4%	30.8%	41.5%
捜査の対象となっている未成年の実名や顔写真が掲載されること	20.9%	38.1%	32.3%	29.9%	29.2%
他人を差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されていること	59.7%	57.1%	45.5%	49.6%	49.2%
ネットポルノが存在していること	26.9%	41.3%	23.2%	21.4%	21.5%
その他	1.5%	4.8%	2.0%	2.6%	1.5%
特になし	0.0%	0.0%	5.1%	6.0%	8.5%
無回答	1.5%	0.0%	0.0%	3.4%	6.9%

(注) 部分：主な評価箇所

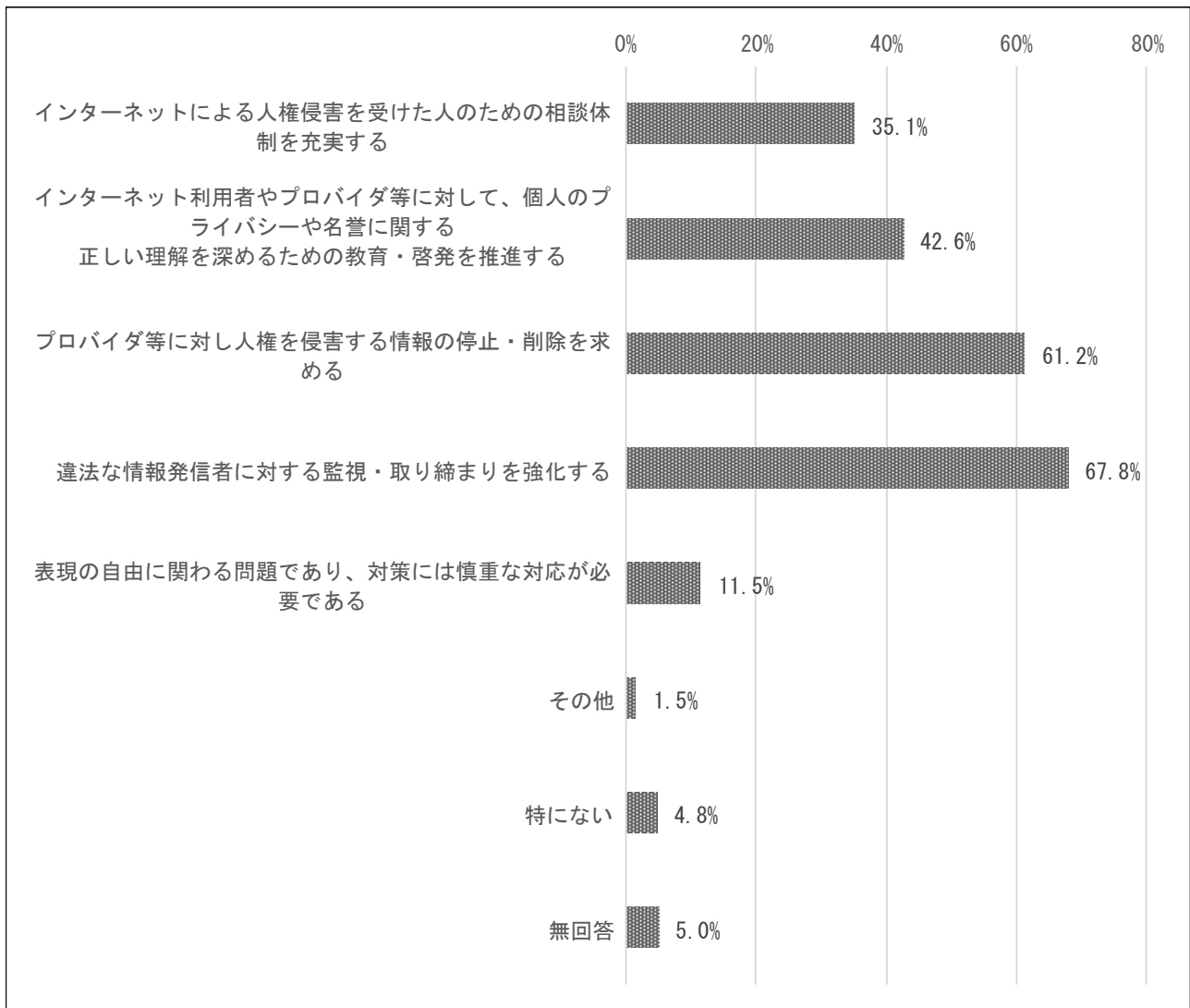
問32 あなたは、インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

インターネット上の人権を守るために必要なことを聞いたところ、「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が67.8%で最も高く、次いで「プロバイダ等に対し人権を侵害する情報の停止・削除を求める」が61.2%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が42.6%となっている。

区分	回答数	構成比
1 インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	168	35.1%
2 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	204	42.6%
3 プロバイダ等に対し人権を侵害する情報の停止・削除を求める	293	61.2%
4 違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	325	67.8%
5 表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	55	11.5%
6 その他	7	1.5%
7 特にない	23	4.8%
無回答	24	5.0%

回答者数 479人



【年代別】

各年代において「プロバイダ等に対し人権を侵害する情報の停止・削除を求める」と「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が多くの割合を占めている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	34.3%	28.6%	38.4%	27.4%	43.1%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	53.7%	50.8%	40.4%	42.7%	34.6%
プロバイダ等に対し人権を侵害する情報の停止・削除を求める	59.7%	65.1%	65.7%	68.4%	50.8%
違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	68.7%	77.8%	74.7%	66.7%	59.2%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	11.9%	12.7%	8.1%	14.5%	10.8%
その他	0.0%	3.2%	2.0%	1.7%	0.8%
特になし	0.0%	0.0%	3.0%	5.1%	10.8%
無回答	1.5%	3.2%	2.0%	4.3%	10.0%

(注) 部分：主な評価箇所

9 性的少数者（LGBTQ等）の人権に対する意識

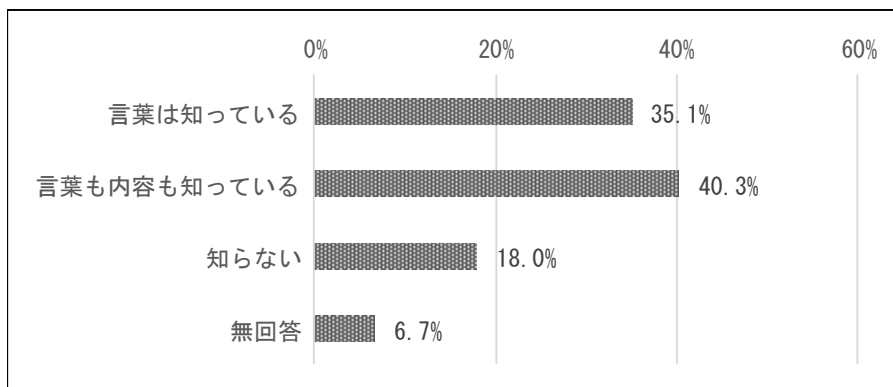
問33 あなたは、あなたは、LGBTQ等の性的少数者に関する言葉について、ご存知ですか。（〇は1つ）

【全体】

「言葉も内容も知っている」が40.3%と最も高く、次いで「言葉は知っている」が35.1%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 言葉は知っている	168	35.1%
2 言葉も内容も知っている	193	40.3%
3 知らない	86	18.0%
4 無回答	32	6.7%

回答者数 479人



【年代別】

18～20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「言葉も内容も知っている」が最も高く、60歳以上では「言葉は知っている」が最も高くなっている。

区 分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
言葉は知っている	32.8%	27.0%	36.4%	34.2%	40.0%
言葉も内容も知っている	58.2%	50.8%	44.4%	41.9%	22.3%
知らない	7.5%	17.5%	17.2%	17.1%	24.6%
無回答	1.5%	4.8%	2.0%	6.8%	13.1%

(注) 部分：主な評価箇所

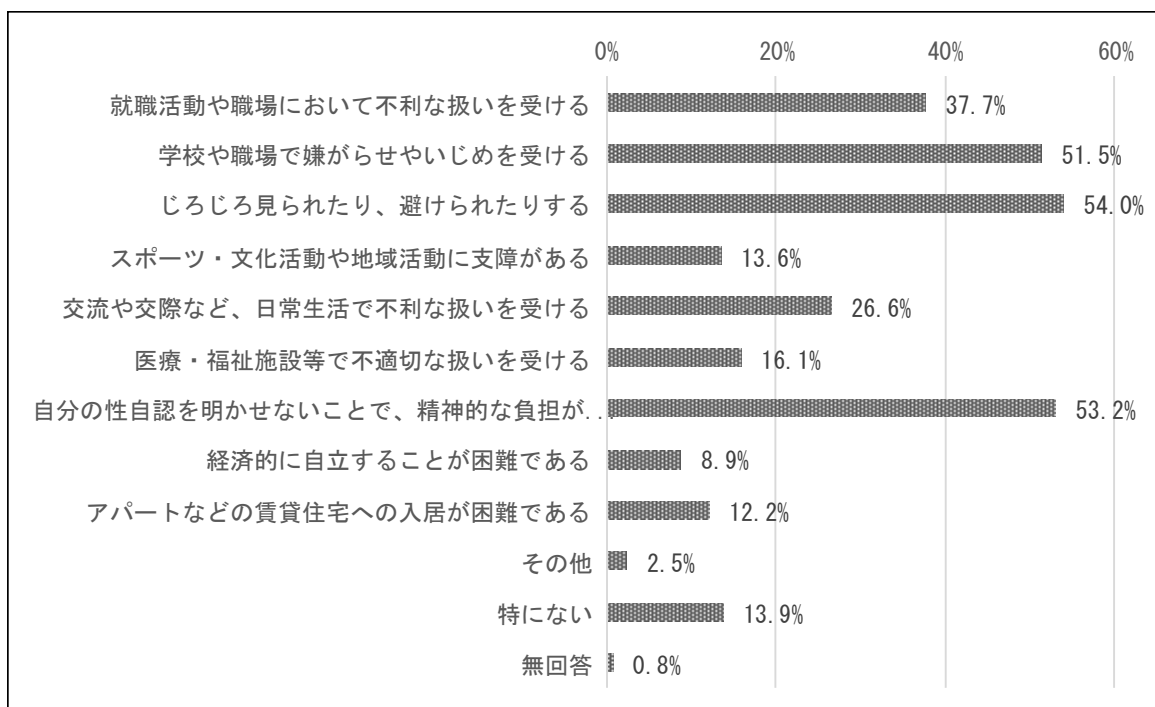
問34 あなたは、性的少数者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

【全体】

「じろじろ見られたり、避けられたりする」が54.0%で最も高く、次いで「自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担がある」が53.2%、「学校や職場で嫌がらせやいじめを受ける」が51.5%と高い割合となっている。

区 分	回答数	構成比
1 就職活動や職場において不利な扱いを受ける	136	37.7%
2 学校や職場で嫌がらせやいじめを受ける	186	51.5%
3 じろじろ見られたり、避けられたりする	195	54.0%
4 スポーツ・文化活動や地域活動に支障がある	49	13.6%
5 交流や交際など、日常生活で不利な扱いを受ける	96	26.6%
6 医療・福祉施設等で不適切な扱いを受ける	58	16.1%
7 自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担がある	192	53.2%
8 経済的に自立することが困難である	32	8.9%
9 アパートなどの賃貸住宅への入居が困難である	44	12.2%
10 その他	9	2.5%
11 特にない	50	13.9%
無回答	3	0.8%

回答者数 361人



【年代別】

18～20歳代では「学校や職場で嫌がらせやいじめを受ける」が、30歳代、60歳以上では「自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担がある」が、40歳代、50歳代では「じろじろ見られたり、避けられたりする」が最も高くなっている。

区 分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	32.8%	36.7%	36.3%	31.5%	50.6%
学校や職場で嫌がらせやいじめを受ける	57.4%	57.1%	50.0%	47.2%	50.6%
じろじろ見られたり、避けられたりする	52.5%	55.1%	61.3%	53.9%	46.9%
スポーツ・文化活動や地域活動に支障がある	11.5%	14.3%	11.3%	11.2%	19.8%
交流や交際など、日常生活で不利な扱いを受ける	31.1%	24.5%	16.3%	32.6%	28.4%
医療・福祉施設等で不適切な扱いを受ける	16.4%	28.6%	11.3%	13.5%	16.0%
自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担がある	52.5%	69.4%	52.5%	46.1%	53.1%
経済的に自立することが困難である	6.6%	12.2%	5.0%	6.7%	14.8%
アパートなどの賃貸住宅への入居が困難である	13.1%	24.5%	8.8%	9.0%	11.1%
その他	1.6%	4.1%	2.5%	2.2%	2.5%
特にない	9.8%	6.1%	12.5%	16.9%	19.8%
無回答	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	2.5%

(注) 部分：主な評価箇所

問35 あなたは、性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

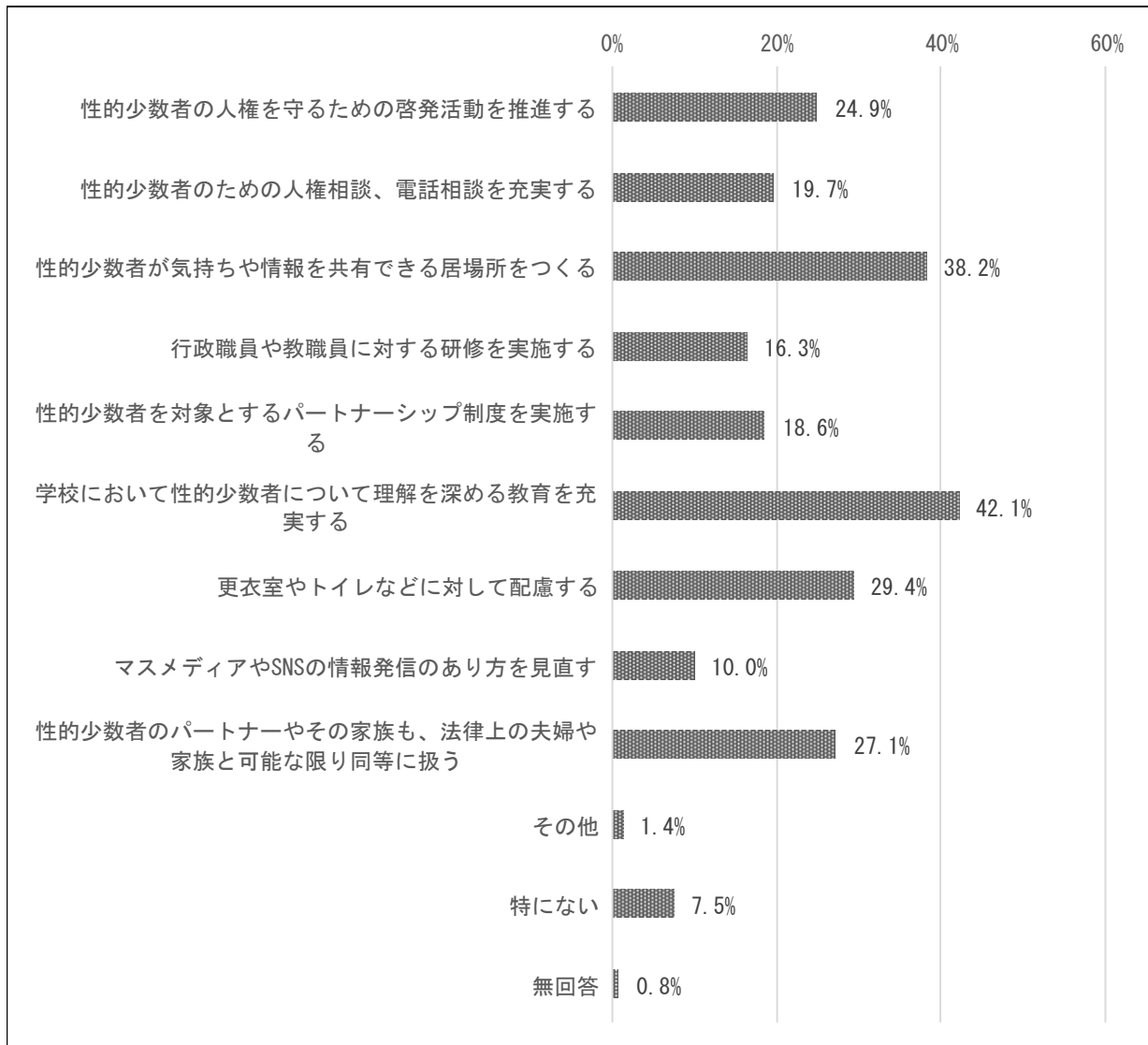
【全体】

「学校において性的少数者について理解を深める教育を充実する」が42.1%で最も高く、次いで「性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる」が38.2%、「更衣室やトイレなどに対して配慮する」が29.4%となっている。

区 分	回答数	構成比
1 性的少数者の人権を守るための啓発活動を推進する	90	24.9%
2 性的少数者のための人権相談、電話相談を充実する	71	19.7%
3 性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる	138	38.2%
4 行政職員や教職員に対する研修を実施する	59	16.3%
5 性的少数者を対象とするパートナーシップ制度を実施する	67	18.6%
6 学校において性的少数者について理解を深める教育を充実する	152	42.1%
7 更衣室やトイレなどに対して配慮する	106	29.4%
8 マスメディアやSNSの情報発信のあり方を見直す	36	10.0%
9 性的少数者のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と可能な限り同等に扱う	98	27.1%
10 その他	5	1.4%
11 特になし	27	7.5%
無回答	3	0.8%

回答者数 361人

9 性的少数者（LGBTQ等）の人権侵害に対する意識



【年代別】

18～20歳代では「性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる」が、30歳代、40歳代、50歳代では「学校において性的少数者について理解を深める教育を充実する」が、60歳以上では「性的少数者の人権を守るための啓発活動を推進する」が最も高くなっている。

区 分	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
性的少数者の人権を守るための啓発活動を推進する	23.0%	12.2%	25.0%	14.6%	45.7%
性的少数者のための人権相談、電話相談を充実する	18.0%	14.3%	25.0%	15.7%	23.5%
性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる	45.9%	30.6%	37.5%	42.7%	33.3%
行政職員や教職員に対する研修を実施する	14.8%	12.2%	13.8%	15.7%	23.5%
性的少数者を対象とするパートナーシップ制度を実施する	23.0%	28.6%	21.3%	15.7%	9.9%
学校において性的少数者について理解を深める教育を充実する	37.7%	51.0%	41.3%	44.9%	37.0%
更衣室やトイレなどに対して配慮する	29.5%	24.5%	32.5%	34.8%	23.5%
マスメディアやSNSの情報発信のあり方を見直す	9.8%	12.2%	7.5%	15.7%	4.9%
性的少数者のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と可能な限り同等に扱う	26.2%	34.7%	26.3%	31.5%	19.8%
その他	1.6%	2.0%	1.3%	0.0%	2.5%
特になし	4.9%	6.1%	6.3%	10.1%	8.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%

(注) 部分：主な評価箇所

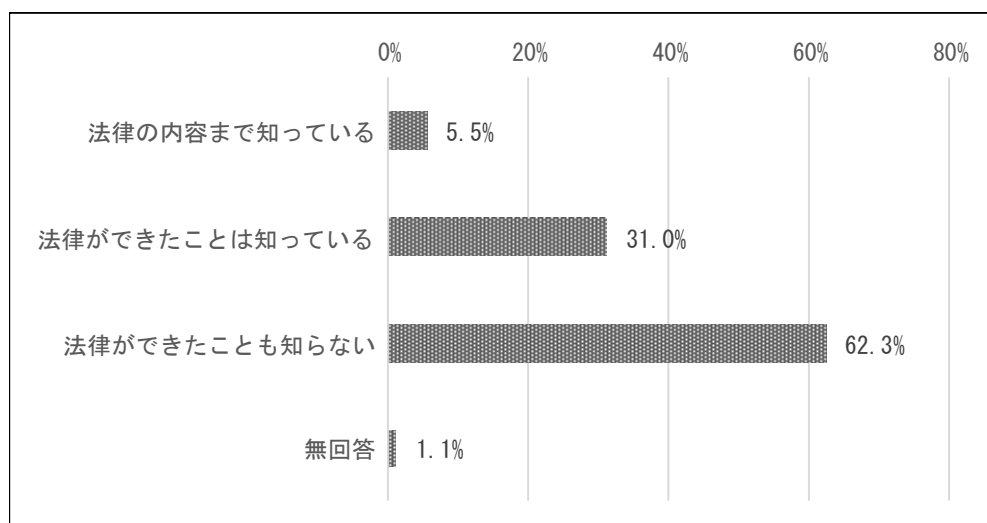
問36 あなたは、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」をご存知ですか。（○は1つ）

【全体】

「法律ができたことも知らない」が62.3%で最も高く、「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合が36.5%となっている。

区分	回答数	構成比
1 法律の内容まで知っている	20	5.5%
2 法律ができたことは知っている	112	31.0%
3 法律ができたことも知らない	225	62.3%
無回答	4	1.1%

回答者数 361人



【年代別】

各年代において「法律ができたことも知らない」の割合が最も高くなっている。

「法律の内容まで知っている」、「法律ができたことは知っている」の合計割合では、30歳代が最も高く46.9%となっている。

区 分	18～20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳 以上
法律の内容まで知っている	6.6%	6.1%	2.5%	7.9%	4.9%
法律ができたことは知っている	31.1%	40.8%	21.3%	32.6%	33.3%
法律ができたことも知らない	60.7%	53.1%	75.0%	59.6%	59.3%
無回答	1.6%	0.0%	1.3%	0.0%	2.5%

(注) 部分：主な評価箇所

秩父郡市 人権に関する意識調査報告書

令和7年3月

編集・発行 秩父郡市同和対策推進協議会

(事務局) 秩父市総務部総務課

〒368-8686 秩父市熊木町 8-15

TEL 0494-22-2251(直通)

FAX 0494-22-1363

